

令和 6（2024）年度 事業報告



公益財団法人とよなか国際交流協会

< 目 次 >

I. 事業報告 総論

4

1. 豊中市の状況 4
2. 事業について ～4つの観点から～ 6

II. 事業概要

8

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業 8
2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業 11
3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業 14
4. 施設管理受託事業 14

III. 2024 年度事業実績詳細

15

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業 15
 - (1) 市民主体の国際交流活動推進事業 15
 - (2) おとな国際事業 21
 - (3) 持続可能な地域づくり事業 25
 - (4) 持続可能な人づくり事業 30
 - (5) 子ども国際事業 32
2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業 33
 - (1) おとなサポート事業 33
 - (2) こどもサポート事業 39
 - (3) 多文化子どもエンパワメント事業 43
3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業 45
 - (1) 小学校外国語体験活動事業（豊中市教育委員会受託事業） 45
 - (2) 国際教育推進事業 46
4. 施設管理受託事業 49
 - (1) とよなか国際交流センター貸室業務 49
 - (2) 視察、学生受入れ等 53
 - (3) ATOMS ふりかえり会（事業評価会） 54
 - (4) 会議等へ参加・協力、他機関との意見交換・情報収集 54
 - (5) 職員研修、その他 55

IV. 理事会・評議員会開催状況、組織体制

57

1. 理事会開催状況 57
2. 評議員会開催状況 57
3. 2024 年度組織体制 59

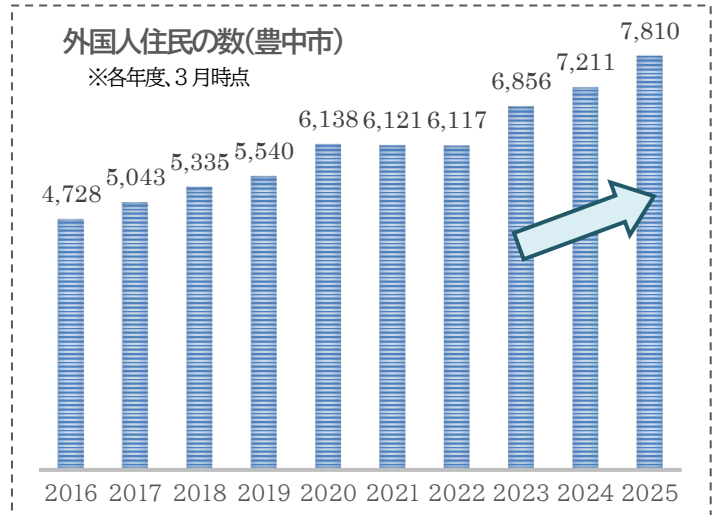
I. 事業報告 総論

1. 豊中市の状況

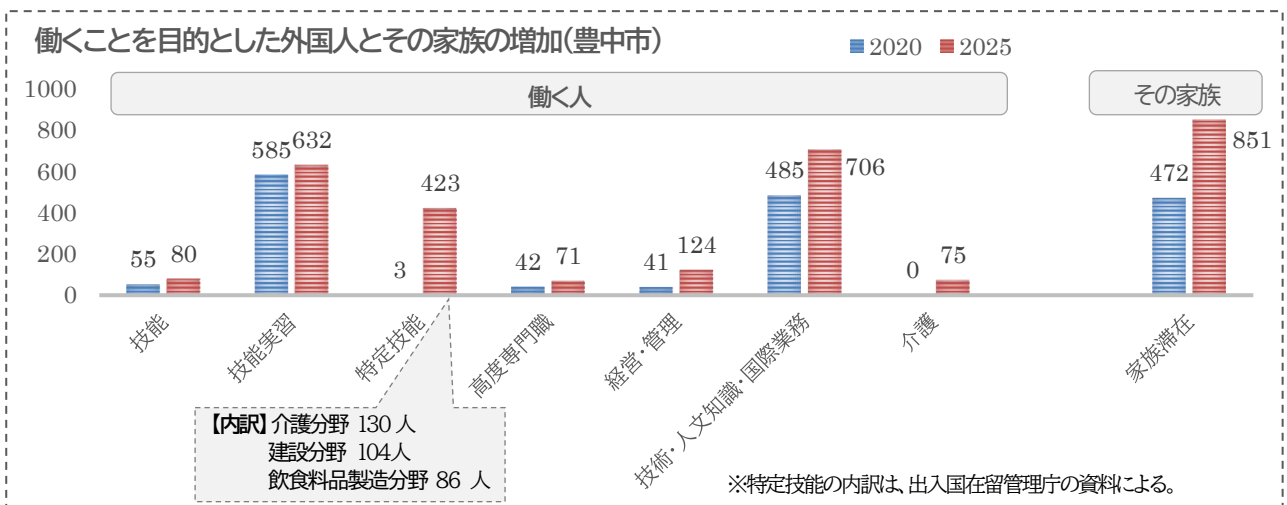
1. 地域の担い手、働く外国人とその家族が増えています。

豊中市で暮らす外国人^{*1}の数は2024年3月末は7,211人でしたが、一年で7,810人になりました。599人(8.3%)の増加です。この10年を振り返ると、地域で暮らす外国人の数は増加傾向にあったものの、新型コロナの感染拡大により、一旦減少しました。しかし、コロナ後は増加の勢いを増し、過去最多を更新し続けています。

地域で暮らす外国人が増えたことに伴い、とよなか国際交流センター（以下、「センター」という。）への来館者も増え、にぎやかさを取り戻しています。



豊中市の外国人住民の増加は働く人とその家族の増加による部分が大きいです。特に豊中市の人口が減少に転じてから増加は勢いを増しています。これは日本社会全体でも同じですが、少子高齢化による人口減少は止まる気配がなく、特に労働生産人口の減少が顕著です。さらに政府は2027年4月から育成就労制度を導入することを予定しており、今後も地域で働く外国人とその家族は増えていくことが予想されます。



働くことを目的とした外国人は、雇用されなければ、在留資格を得ることができません。働くことを目的とした外国人とその家族が増えているということは、それだけ地域が外国人を必要としていると言えます。

2. 外国人は同じ住民として、地域で受け入れられてきたか。

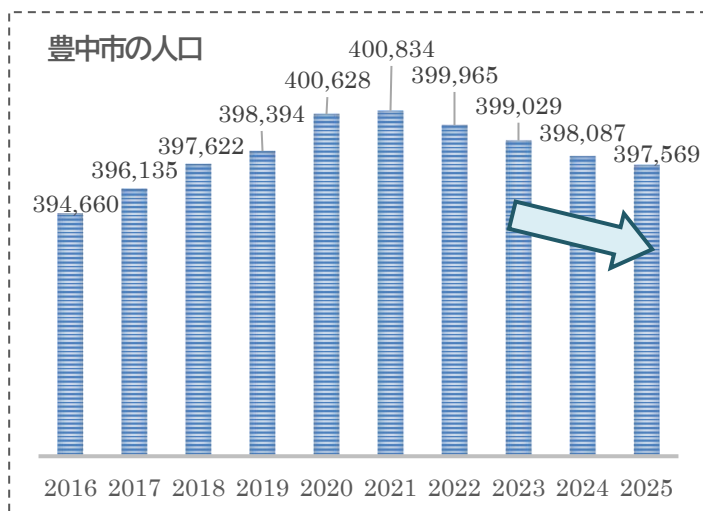
地域に求められて来日した労働者とその家族は、同じ地域で暮らす住民として、しっかりと受け入れられてきたかという点、全てうまくいっているとは言えません。

外国人から「地域の人たちと交流したいけど、どうしたらいいかわからない」「地域の人のために、自分にできることをやりたいけど、誰に言ったらいいかわからない」などの声を聞くことは少なくありません。また、逆に地域の方から「地域のイベントに来てほしいけどどうしたらいいかわからない」「どう声をかけたらいいかわからない」と聞くことも多く、こういったすれ違いは豊中市内のあちこちで起きています。

さらにすれ違いに留まらず、偏見や差別、排除も起きているのが事実です。特にコロナ禍のとき、外国

人の生活基盤の脆弱性や外国人に対する偏見や差別、排除の意識などが顕在化しました。「自分は外国人だから真っ先に解雇されるだろう」「外国人だから仕事の希望は言えない」「自分が外国人だということが分からないように過ごしていた」「外国人だからいじめられた」といった声を聞くことが少なくありませんでした。

コロナ禍が落ち着き、そういった声は減り、外国人の雇用や交流を希望する声が増えました。日常に戻るにつれ、再び問題は見えにくくなりましたが、生活基盤の脆弱性や偏見や差別、排除の意識などの問題が根本的に解決されたわけではありません。



政府は育成就労制度などの外国人労働者受入れ施策を推進し、さらに共生社会を実現することを目標として掲げていますが、それと並行して永住許可の取消制度の導入が決まりました。永住許可の取消制度は人生設計への影響もさることながら、「永住者」であってもずっと日本に安定して居られるわけではない」というメッセージとして外国人には受け止められました。このことのインパクトはとても強く、日本社会における外国人の位置づけはより心許ないものになりつつあります。

3. 同じ住民として、ともに支え合い、地域を創っていくために。

外国人も同じ地域の住民として交流や相互理解を深め、一人ひとりが安心・安全に暮らせるようにすること、その結果として地域が元気になること、つまり、多文化共生のまちづくりを通して地域社会・日本社会の未来を創造していくことは今の日本の状況を考えてとても大事なことです。

豊中市では多文化共生指針において、以下の通り、基本理念を掲げています。

豊中市多文化共生指針（2024年2月）

<基本理念>

国籍やルーツにかかわらず、さまざまな文化的背景を持ったすべての人が、人権尊重を基調に、お互いを理解し合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に暮らす多文化共生のまちの実現

地域で暮らす外国人が社会の担い手としての存在感を少しずつ増してきている中、指針で掲げた基本理念を実現することはますます重要性を増しています。公益財団法人とよなか国際交流協会^{*2}でも同指針に準拠して事業展開を進めています。

協会は「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念としています。1993年の設立以来、センターを拠点として、外国人市民の自立や社会参加に向けた総合的な外国人支援と多様な文化が認められる「ばづくり」や差異ある人々との共生のために行動できる「ひとづくり」を推進してきました。

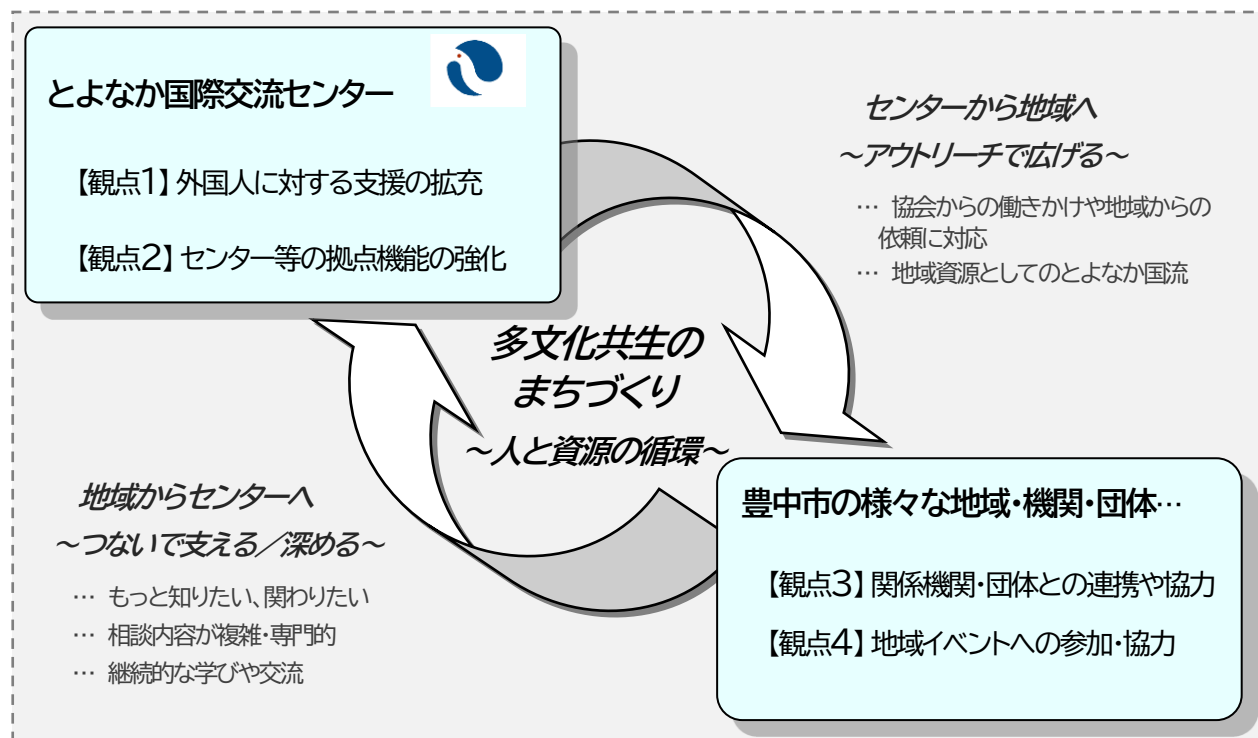
協会では、これからもこれまでの蓄積を活かし、多文化共生を進めることで豊中を元気にしていきたいと思っています。

^{*1}... 国や市など行政の統計では「外国人」とは外国籍の人を指しますが、協会では国籍だけでなく、外国にルーツを持つ人々も含めて「外国人」としています。

^{*2}... 2024年度は、センターの第四期〔2021～2025年〕指定管理者期間の4年目でした。

2. 事業について ～4つの観点から～

外国人を含む地域住民が、その多様な背景を大事にしながら地域で安全・安心して暮らし、共に地域を創っていく仲間としてつながるように様々な取組を進めました。4つの観点から整理し、説明します。



(1) 観点1：外国人に対する支援の拡充 ～相談機能の強化・充実～

地域で暮らす外国人が支援や交流の場につながるように、多言語での情報発信に努めました。Facebookやウェブサイトによる多言語（11言語）での情報発信やInstagramでの情報発信を行っています。様々な情報をタイムリーに届けること、情報から取り残される人がいないように取り組んでいます。

多言語相談サービス事業について、2020年から豊中市が法務省「外国人受入環境整備交付金」による多文化共生総合相談ワンストップセンターを受託していることを受け、協会でも2020年から対応曜日を増やして対応を行っています。多言語スタッフについては、定期的に研修や面談を行い、対応力の強化に努めました。また、多機関連携会議（事務局：豊中市福祉部地域共生課）への参加・協力を通して、横のつながりによる課題解決力の強化も進めました。さらに、大阪弁護士会と外国人のための一日相談会（1月、庄内コラボセンター）、離婚に関する一日電話相談会（2月、大阪弁護士会館）を実施しました。

他にも、個々の相談対応に加え、多言語スタッフを中心にコミュニティづくりや日頃の相談内容をふまえた外国人向け講座・イベントを企画・実施し、外国人の課題解決及び孤立を防ぐ取組を精力的に進めました。

相談対応言語数： 11言語
相談件数： 2,864件

(2) 観点2：センター等の拠点機能の強化 ～市民一人ひとりに居場所と役割を～

協会では子ども母語、学習支援サンプレイス、若者支援事業を実施し、安心できる居場所でピア（同じような状況の仲間）やロールモデルと出会い、つながること、そのことで元々持っていた力を取り戻していくこと（＝エンパワメント）を大切にしてきました。若者のたまりばでは、若者の状況やニーズに合わせ、事業の開催回数を増やし、さらに実施内容も地域のお祭りや参加者の学校の文化祭への参加など工夫を加えました。外国人のためのスポーツ交流会も実施しました。

子育て中の外国人ママを対象とした「外国人ママのための居場所 おやこ（千里・岡町・庄内）」を市内

3図書館（岡町、庄内、千里）で実施しています。

主に成人対象の日本語交流活動はセンターに加え、庄内コラボセンター、千里文化センターさらにオンラインでも実施していますが、外国人のニーズを踏まえ、新たに土曜日の活動も準備を進めました。また、日本語交流活動には多くの市民が参加していますが、マイクロアグレッションをテーマに、安全・安心の場づくりについて考える研修を行いました。日本語交流活動は学習者、ボランティア等全ての参加者にとって居場所であり、生涯学習の場でもあります。今後も、安定的な運営と活動の充実に取り組みます。

センター登録グループ（19 団体）とは共に実行委員会形式で国際交流フェスタを開催しました。成果発表、料理、遊び、文化体験、バザーに加え、ダンス（実行委員会企画）で会場は盛り上がりました。

日本語交流活動実施回数： 311 回
日本語交流活動参加者： 10,264 人
(のべ人数)
事業に参加するボランティア： 430 人
国際交流フェスタ参加者： 670 人

（3）観点3：関係機関・団体との連携や協力 ～ネットワークによる厚みと広がり～

多文化共生をテーマとしたネットワーク「多文化まなびあいネット」では、やさしい日本語について学びました。また、市や府が行う会議・ネットワーク会議にも多数参加したり、豊中市社会福祉協議会主催のネットワーク会議に参加したりするなど、関連分野のネットワークのつながりづくりにも努めました。

このほか、大阪弁護士会とも相談会を開催したり（生活について、離婚について等）、近畿税理士会とも定期的に話をする機会があり、税務相談が可能な体制が作られています。府内で外国にルーツを持つ子ども・若者の支援に携わっている団体とのネットワーク「子どもの夢応援ネットワーク」では、文部科学省の担当官を招いたセミナーを実施するなど、多様な機関・団体との協働や連携を進めました。

～2024 年度に協働で取り組んだ団体等（※豊中市、大阪府の各部署を除く）～

大阪弁護士会、近畿税理士会、文部科学省、国立社会保障・人口問題研究所、大阪大学、豊中市社会福祉協議会、豊中青年会議所 等

（4）観点4：地域での学び・交流 ～地域に広げる多文化共生のまちづくり～

より多くの人とともに多文化共生に取り組んでいくため、市民が多文化共生、国際交流に触れる機会を作りました。庄内コラボセンター1階のカフェコーナーで「世界につながる国流カフェ」を行いましたが、今年度は特別にベトナム編、中国編、チェコ編も実施しました。実施期間中は図書館での多文化展示も行いました。

やさしい日本語はワークショップ・出前講座（計 21 回）を行い、多くの市民参加・学びの機会を提供しました。

また、小学校外国語体験活動事業では、地域で暮らす外国人（42 人）が小学校を訪れました。子どもたちは多文化共生を身近に感じることができ、広く世界で活躍していく原点となる体験を提供することができました。

世界とつながる交流カフェ： 10 回
※庄内コラボセンター1階カフェスペースで実施
やさしい日本語 WS 参加者： 854 人
小学校外国語体験活動： 636 時間
(のべ人数)
参加児童数：約 19,080 人

○とよなか国際交流センターの有効活用

センターが国際交流・多文化共生の拠点としての役割を果たすため、豊中市とも協議を行いながら、安全・安心に利用してもらえるよう努めてきました。センターの貸室利用者数は年間 41,747 人（昨年度比 4,579 人増）でした。国際交流目的での使用が全貸室件数のうち、89.3%を占めていることから、目的公共施設としての役割を十分に果たしていることが分かります。外国人利用者は 20,229 人で全体の約 48%を占めます。豊中市の外国人の人口割合（国籍では約 1.7%）と併せて考えると、外国人を含む地域住民が大勢足を運び、出会い、学び、交流、あるいは必要な支援を受けるなどして、センターが誰ひとり取り残さない多文化共生のまちづくりを進める拠点としてしっかりと機能させることができました。

Ⅱ. 事業概要

市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出するため、次の事業を行った。

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

(1) 市民主体の国際交流活動推進事業

① 情報サービス事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】協会やセンターからのお知らせの発行（日本語及び多言語）、新聞・書籍・雑誌などの閲覧提供、コミュニケーションボードの設置、ウェブサイト・Facebook や LINE、Instagram などの SNS 等を利用した情報発信を行った。

【対象】国際交流に関心を持つ市民

【主な実績】協会及びセンターのウェブサイト運営。多言語ニューズレターは2021年度より「とよなかし からのお知らせ」として毎月発行、ウェブサイトでの情報提供（日本語及び多言語）、Facebook や LINE に加え、Instagram での情報発信（2023年12月より開始）での多言語情報の発信、災害時多言語支援情報サイトを新設（2024年7月～）、協会事業のメディアへの掲載、外国語図書・民族衣装・教材の貸出等。

② 市民活動協働事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】市民団体の活動支援のため、センター登録グループとの情報交換を行ったほか、昨年度に引き続き、国際交流フェスタを開催した。また、関心のある市民及び団体に対して随時相談に対応したほか、団体の運営に対して必要に応じてサポートを行った。さらに、福祉、男女共同参画、環境、市民活動、国際交流の分野に取り組む5団体で中間支援組織間の連携を図った。そのほか、しょうない REK 実行委員会や国際交流協会ネットワークおおさかへの参加など地域他団体・広域の関連団体との協働を進め、国際の視点に立った取組を行った。豊中市の都市間連携の動きに合わせ、隣接する4中核市（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）担当部署、国際交流協会間で情報交換を実施している。

【対象】国際交流に関心を持つ市民及び団体

【主な実績】市民共同デスクへの参加、しょうない REK 実行委員会への参加、4中核市での情報交換会への参加、市民団体の運営協力、市民団体・個人からの相談対応

③ 留学生ホストファミリー事業

【趣旨】市民の国際交流活動が推進されるように環境整備を進める。

【内容】今年度は大阪大学と JASSO（日本学生支援機構大阪日本語教育センター）の留学生とホームビジットの形で活動を行うことができた。交流会を2回開催し、新規ボランティア登録説明会や協会イベントのお手伝いを行ったりした。

【対象】国際交流に関心を持つ市民

【主な実績】ボランティア登録 計72家族

(2) おとな国際事業

① にほんご活動事業

【趣旨】外国人市民と日本人市民の出会いや交流、双方の関係が結べる機会を提供する。

【内容】外国人や日本人の参加者のニーズに合わせた多様な日本語交流活動（希望する外国人と研修を受けたボランティア／子育て中のボランティアによる）を行った（センターで週5回、庄内公民館・千里文化センター・岡町図書館・庄内図書館〔※現在は隔週〕・千里図書館のそれぞれで各週1回）。

【対象】日本語交流活動への参加を希望する日本人及び外国人

【主な実績】[1] にほんご活動 実施回数のべ311回、参加者のべ10,264人（うち外国人5,893人）

[2] 多文化子育て支援事業 外国人ママのための場所「おやこ」 実施回数のべ88回、参加者のべ769人（うち外国人257人）

② 多文化共生推進事業

【趣旨】多文化共生のまちづくりを実現するために、市民が参加しやすい様々な学びの場を提供する。

【内容】世界の文化について様々な切り口で学ぶセミナーやワークショップの開催。また、地域の外国人が必要な地域情報にアクセスできるよう通訳を養成して派遣を行う。

【対象】多文化共生の取組に関心のある日本人・外国人

【主な実績】「世界を食べよう」3回。参加者のべ41人（うち外国人14人）。「世界を食べよう」のレシピ本の頒布（有料頒布数118冊）。多文化・多言語セミナー3回開催（含共催）、参加者のべ77人。英語を通じて様々な国の文化や習慣などについて学ぶ“English Day”2回開催、参加者のべ47人（うち外国人7人）、国流シネマカフェ1回、参加者のべ56人（うち外国人2人）等。

(3) 持続可能な地域づくり事業

① メディア・リテラシー市民ゼミナール

② 持続可能な開発のための教育（ESD）・防災・地域貢献

【趣旨】国際化や情報化が進む中、民主的な社会づくりに不可欠な知識・理念・技能を学ぶ機会を提供する。その学びに基づいた行動が地域でできるよう行政や各機関との連携・協働を促す。

【内容】[1] メディア・リテラシー市民ゼミナールでクリティカルな視点を学べる機会を提供した。

[2] 持続可能な開発のための教育（ESD）事業について、ESDとよなか連絡会議に参加し、関係団体との地域課題の共有を行い、関係団体の連携について検討を重ねた。また、地域における幼少中高や教職員を対象とした国際理解教育の現場に講師を派遣したほか、地域の人たちの外国人の問題や国際理解・多文化共生等に関する相談を随時受けてきた。

[3] マイクロアグレッション啓発パンフレットを作成するチームを運営。

[4] ネパール開発教育教材作成プロジェクトの立ち上げ。

【対象】外国人及び市民

【主な実績】[1] メディア・リテラシー講座の開催2回、参加者18人（うち外国人8人）

[2] ESDとよなか連絡会議への参加。講師派遣年間のべ51件、87人

[3] マイクロアグレッション啓発パンフレット作成のための会議10回、のべ75人

[4] ネパール開発教育教材作成プロジェクト会議および模擬授業、のべ50人

(4) 持続可能な人づくり事業

① ボランティア研修事業

【趣旨】国際交流活動の担い手育成のため、ボランティア養成やボランティア研修を実施する。

【内容】[1] 日本語ボランティア養成講座、多文化子育て支援ボランティア養成講座を実施。また、現役ボランティアも含めたボランティア向け兼フォローアップ研修も実施した。
[2] 学習者、利用者、ボランティア、スタッフ等、協会の事業に関わる人たちがみんなが安心して活動し、交流する場をつくるために、マイクロアグレッション研修を実施した。「マイクロアグレッション」とは何か事例を通して学び、実際にマイクロアグレッションが目の前で起こった時にどのような対応をするか等ワークショップを通して共に考える場を提供した。

【対象】国際交流活動ボランティア、関心のある市民

【主な実績】[1] 「日本語ボランティア養成講座」：4 回、参加者のべ 166 人、「多文化子育て支援ボランティア養成講座」：3 回参加者 48 人、ボランティアフォローアップ研修 1 回、参加者 17 人
[2] マイクロアグレッション研修（ボランティア研修として実施）：2 回、参加者 55 人

(5) 子ども国際事業

① ～平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

【趣旨】次世代の担い手である子どもたちが日本や世界の様々な文化を体験して学ぶことのできるような異文化理解・国際理解の機会を提供する。

【内容】地域に暮らす様々な人の協力のもと、国際理解を促す体験活動「おまつり地球一周クラブ」を 3 回実施した。

【対象】小・中学生とその保護者

【主な実績】「おまつり地球一周クラブ」3 回実施、参加者のべ 55 人（うち外国人向け 14 人）。

② 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

【趣旨】韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びなどについて学び、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設ける。

【内容】「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」の活動を実施し、民族講師から民族の文化や遊びについて学べる機会を提供した。また、普段は異なる学校に通う子どもたちが月に一度センターに集まり出会いつなげる機会にもなった。

【対象】韓国・朝鮮につながりのある小学生、中学生

【主な実績】韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい 10 回実施（※ミーティング含む）、参加者のべ 320 人（うち外国人 216 人）。小学生のハギハッキョ、小学生・中学生のハギハッキョキャンプを実施。

2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

(1) おとなサポート事業

① 相談サービス

【趣旨】在住外国人が抱える課題を解決するために相談サービスを行う。また、相談スタッフが中心となって、地域に住む外国人が自文化を発表する機会の創出を行い、エンパワメントを図る。

【内容】外国人のための一般生活相談及び外国人女性専用電話相談を相談サービス事業として実施した。対応言語は日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語。①多言語スタッフ、②コーディネーター、③相談員を配置して相談対応を行ったほか、通訳や翻訳作業も行った。2024 年度も外国人が日本人配偶者に「勝手に離婚される」問題を受けて、「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」を他機関と協働して運営し、外国人が抱える課題を広く社会に提起する取組も継続して実施した。さらに、センター外での相談会開催や訪問支援などアウトリーチの取組の実施や多機関連携会議へ参加した。

【対象】外国人及び必要とする市民

【主な実績】[1] 相談件数 2,864 件
[2] 機関連携による専門的な相談対応
[3] リコン・アラート（協議離婚問題研究会）を通じた啓発活動、一日離婚電話相談会の開催等

② コミュニティ活動

【趣旨】地域に暮らす外国人のエンパワメントにつながるグループワークの展開、また自助グループの活動の側面支援を行う。

【内容】高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」を開催した。2024 年度はクリスマス会を実施し、冒頭部分で防災講座を行った。

【対象】外国人

【主な実績】Filipino Young at Heart's Club 1 回実施、参加者 55（うち外国人 50 人）

③ 防災事業

【趣旨】大規模災害時における外国人支援の仕組みを市や関係団体と共に構築し、災害時も踏まえた安心・安全なまちづくりのための体制づくりならびにその啓発を行う。

【内容】外国人市民を対象に「外国人のための防災セミナー」や豊中市消防局の協力による消防セミナーを開催したほか、神崎川流域合同防災訓練、豊中市社会福祉協議会主催の災害時ボランティアセンター設置訓練に参加するなどした。また、災害時多言語支援センター設置訓練を実施して、運営マニュアルの見直しを行った。災害情報発信としては、7 月に当協会ホームページに災害時多言語情報特設ページを新たに開設し（自動翻訳で 15 言語に対応）、ホームページや SNS（LINE、Facebook）を通じて南海トラフ地震臨時情報や台風 10 号（いずれも 8 月）に関する情報提供を行った。

【対象】職員、外国人

【主な実績】外国人のための防災セミナー（1 回実施）、参加者 21 人（うち外国人 30 人）、外国人のための消防セミナー@豊中市北消防署（1 回実施）、参加者 40 人（うち外国人 39 人）、災害時多言語支援センター設置訓練（1 回実施）、参加者 23 人（うち外国人 8 人）

(2) こどもサポート事業

① 多文化子ども保育 “にこにこ”

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として差別を受けることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】保護者が参加する日本語学習と同時時間帯に「多文化子ども保育 “にこにこ”」を実施し、孤立しがちな外国人家庭の子どもが多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会性を身に付ける機会を提供した。

【対象】外国にルーツを持つ就学前の子どもとその保護者

【主な実績】「多文化子ども保育 “にこにこ”」のべ86回実施、ボランティアのべ186人、子どもの参加のべ286人（うち外国人286人）

② 子ども母語教室

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として人権が保障されるよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】子どもや親のニーズに合わせて中国語、スペイン語の「子ども母語教室」を実施し、外国にルーツを持つ子どもたちが母語でコミュニケーションが取れるように支援をするとともに、子ども同士の仲間づくりを促進した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども（小学生以上高校生以下）

【主な実績】子ども母語教室（中国語、スペイン語）2教室合わせてのべ36回実施、ボランティアのべ75人（うち外国人57人）、子どもの参加者のべ81人（うち外国人81人）

③ 学習支援・サンプレイス

【趣旨】「子どもの権利条約」に掲げられているように、権利の主体として人権が保障されるよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

【内容】外国にルーツを持つ小学生から高校生までの日本語・学習支援を通した居場所づくり「サンプレイス」を行った。子どものニーズに沿ってボランティアが宿題、日本語、教科の勉強、表現活動などに対応した。また、子どもたちやボランティアのつながりを深めるために、春・夏・秋に年3回、かき氷作りやハロウィンなどの季節的な行事や遠足などをボランティア企画のイベントも実施した。また多文化フェスティバルのブース出店の企画事業を行ったほか、子どもの相談にも随時対応した。さらに、外国にルーツを持つ子どもの居場所づくりに必要な視点やスキルを学ぶための研修を実施した。

【対象】外国にルーツを持つ子ども（小学生以上高校生以下）

【主な実績】サンプレイス のべ35回実施、参加者のべ430人（うち外国人297人）。行事の開催4回、子どもの参加者40人（うち外国人26人）。ボランティア研修3回、ボランティアの参加者のべ29人（うち外国人13人）

④ 若者支援

【趣旨】義務教育年齢を過ぎた外国人の若者の居場所づくりを通して、必要な支援（相談、自己表現や体験活動、学習に対する支援等）を実施する。

【内容】外国にルーツを持つ「若者世代」を対象に、安心して集い、悩みや課題を相談できる居場所づくり及び生活支援を行った。2024年度は国際交流フェスタでの出店や南部地域の庄内コラボセンターでカフェをしたり、遠足に行ったりなど参加者のやりたいことを企画化し、チャレンジできる機会を提供し

た。また、参加者の主体的な参画を促す工夫として、参加者と一緒に次回の活動内容を決めるなどをした。

【対象】外国にルーツを持つ若者（16歳以上39歳以下）

【主な実績】 [1] 外国にルーツを持つ若者の居場所事業

- ・外国にルーツを持つ若者「たまりば」年18回、参加者のべ80人（うち外国人52人）
- ・イベント、行事の開催年1回、参加者のべ6人（うち外国人4人）

[2] 高校進学のための同行支援7回 参加者のべ21人（うち外国人21人）

（３）多文化こどもエンパワメント事業

① 学習日本語「こんぱす」

【趣旨】外国にルーツを持つ子どもたちが日本で教育を受け、生活していくために必要な日本語の力を身に付ける機会を設ける。

【内容】学習のための日本語支援が必要な子どものための日本語教室で、日本語学習の支援を行った。また、子どもの日本語と学習面のつまずきや悩み、不安に関する学習相談日を設け、学校教員や保護者等からの相談対応を行った（運営の中心は「とよなかJSL」というグループ）。

【対象】学習日本語「こんぱす」…外国にルーツを持つ子ども（小学生・中学生）

学習相談…学校の教職員、外国にルーツを持つ子どもとその保護者

【主な実績】学習日本語「こんぱす」のべ86回実施、参加者のべ1,283人（うち外国人601人）、学習相談9件、参加者のべ51人（うち外国人23人）

② ネットワーク事業への参加

【趣旨】主に大阪府内で外国にルーツを持つ子どもの支援に携わっている機関、団体でネットワークを組み、一つの機関・団体では解決が難しい課題について意見や情報の交換、発信を行った。

【内容】情報交換・意見交換のための会議の開催、研修会の開催。

【対象】外国にルーツを持つ子ども等、外国人の支援に携わっている機関・団体

【主な実績】子どもの夢応援ネットワーク会議への参加など

3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

(1) 国際教育推進事業

【趣旨】豊中市で行ってきた様々な「国際」に関する取組を総合的につなげるシステムを作り出すために、教育資源を共有財産にする学び合い、調査・研究を実施する。

【内容】多文化フェスティバルを開催した（後援：豊中市教育委員会）。帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会に構成団体として参加し、「多言語による進路ガイダンス」を開催した。

【対象】豊中市教育委員会及び豊中市立小中学校

【主な実績】「多文化フェスティバル」の開催（年1回、参加者141人、うち外国人61人）、「多言語による進路ガイダンス」の開催（年1回、参加者140人、うち生徒・保護者・通訳者計78人）

4. 施設管理受託事業

(1) とよなか国際交流センター貸室業務

(2) 視察、学生受入れ等

(3) ATOMS ふりかえり会（事業評価会）

(4) 会議等への参加・協力、他機関との意見交換・情報収集

【趣旨】センター貸室業務は定款にある目的を達成するための事業（国際交流の機会提供及び参加促進の事業、国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業、国際交流に関する情報の収集及び提供事業、民間団体の国際交流活動に対する支援事業、国際協力に関する事業、在住外国人に対する支援事業など）を推進していく活動ならびに同様の国際交流を目的とする市民や利益目的でない一般利用者への貸室業務であり、貸室の利用料金に関する収入は全て豊中市に納付している。

【内容】センターの国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して、公平公正、安全に貸室業務を行った。さらに視察受入れや職員研修、大学からのインターンシップ生の受け入れ、「地域体験学習CUL(カル)」職場体験の受け入れを行った。

【対象】市民及び施設利用者

【主な実績】[1] 年間貸室利用者数 41,747 人（前年度比 4,579 人増）、うち外国人利用者数 18,848 人（前年度比 16,091 人増）
[2] 視察受入れ（計 28 件、合計 181 人（うち外国人 19 人）
インターンシップ生 3 大学より 4 人、計 180 時間
CUL（地域体験学習） 2 中学より 4 人
[3] Atoms 振り返り会参加者 42 人
[4] 職員研修（計 45 回）

Ⅲ. 2024 年度事業実績詳細

1. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

(1) 市民主体の国際交流活動推進事業

① 情報サービス事業

◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分け発行した。日本語版は「こくりゅうだより」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携の一環として、毎月、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校イラスト部の高校生ボランティアに交互にお願いしている（発行：A3 サイズ [表裏]・フルカラー [180号～191号]、各月1,100部）。

多言語ニュースレターについては、2021年度より「とよなかしからのおしらせ」として言語ごとに紙面を発行している（発行：A4 サイズ [表裏]・モノクロ、8言語で毎月計3,160部）。外国人が必要とする情報を多言語で分かりやすく提供するため、記事の選出や表現の仕方を工夫した。

◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の収集と提供を行っている。外国人向けの無料コミュニティ紙、多言語の新聞やチラシを配架するなど、言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行っている。

豊中市立図書館からは半年ごとに多言語での書籍（約100冊）の団体貸出を受けており、図書館とも連携して図書の充実を図っている（2013年1月より継続して実施）。さらに今年度からは市立図書館の団体貸出制度を活用し、今こそ知ってほしいというテーマの本を市立図書館の司書の方に選書していただき、それをセンターに配架・貸出する取り組みを始め、FacebookやInstagramなどSNSを通じて広報している（2024年度に取り上げたテーマ【1回目】「隣に暮らす外国人」「多文化共生」「韓国文学」「海外のフェミニズム文学」、【2回目】「マイクロアグレッション」「外国人と防災」「イスラームを知ろう」「入管と外国人」）。

館内に設けている「地球市民ライブラリー」の蔵書については、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成を行い、市民が利用しやすい環境を整えた。2023年度に引き続き書籍のジャンル別に配置を行い、色シール分類や分かりやすいジャンル記載プレートを導入することで、利用者の利便性を図った。日本語学習テキスト、人権・多文化共生等に関する書籍も購入し、新着図書コーナーも設けた。市民から外国語図書の寄贈もいただき活用している。また、日本語学習のテキストや絵本等で重複して何冊もあるもの、新しく購入した書籍と同じもので版が古いもの等を、必要としている方に無料で提供できるようにセンター内の本棚に配置している。

民族衣装や民族教材は、国際理解教育や民族教育を目的とし、市内学校園や公共施設へ無償で貸出を行っており、今年度は特に民族衣装の貸し出し件数が大幅に増加した。また、庄内コラボセンターで開催した「世界とつながる交流カフェ」開催に合わせて、カフェのテーマ国にまつわる衣装や教材などの展示を庄内図書館で行った。

◆図書類（外国語図書（絵本）含む）

貸 出		貸出件数 (件)	増 冊 数		件数 (件)
総 数		84	総 数		136
【内訳】	一般図書（絵本含む）	41	【内訳】	一般図書	44
	外国語図書（絵本含む）	43		日本語学習関係	40
	くうち 英語	(12)		辞書類	0
	中国語	(15)		絵本（日本語）	7
	タイ語	(6)		資料	13
	韓国・朝鮮語	(6)		外国語図書（絵本含む）	32
	フランス語	(2)		学習教材	0
	フィリピン語	(1)			
	ネパール語	(1)			

◆定期刊行物

内 容	購入点数 (冊)	フリーペーパーなど (誌)
定期刊行物	新聞 (日本語)	2
	新聞 (外国語)	1
	雑誌・機関誌等	2

◆民族衣装、民族楽器、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計 (件)
貸出 (件数)	37	5	16	58
購入・寄付受付 (件数)	24	4	55	83

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、個人が自由に情報交換できるようにしている (掲示期限有り)。ボードの利用件数は年間で 24 件だった。

◆ウェブサイト

協会ウェブサイトでは、日本語を含む 11 言語の多言語ページのお知らせウインドウを使い、各言語で新しい情報を随時提供した。また、災害時に迅速に多言語で情報を発信できるように、協会ウェブサイト内に「災害時多言語支援情報サイト (自動翻訳機能付き: 16 言語)」を設置した。

主催事業の新着情報等も随時更新し、常に最新情報を届けるようにした。今年度は、センターおしらせを掲載した。(協会ウェブサイトの年間訪問者数 40,515 件、多言語での情報提供ページの訪問者数は 2,795 件)。

◆SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

Facebook, LINE を利用し、日々の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などを継続して行った。Facebook ページでは 2024 年度も引き続き多言語ページ (英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ベトナム語の 9 言語) を活用し、毎月発行される外国人向け市政情報「とよなかしからのお知らせ」多言語版、生活支援情報や外国人向けのイベントやセミナー情報、防災に役立つ情報などを言語別に発信した。公式 LINE アカウント (日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、タイ語、ベトナム語) においても同様の内容の情報発信を行った。SNS では、特に Facebook と Instagram による情報発信に力を入れ、イベント情報や災害情報のほか、活動報告をたくさんの写真とともに掲載する他、日本語交流活動や「わかものたまりば」といった定例事業の日常的な活動について発信するように心がけた。

災害時の情報としては、大雨警報のお知らせ (5 月) や熱中症への注意喚起 (7 月) 他、ホームページに新たに開設した「災害時多言語支援情報サイト」の自動翻訳機能 (16 言語) を活用し、南海トラフ地震臨時情報や台風 10 号 (いずれも 8 月) などについて迅速な情報発信を行った。

【協会の Facebook ページのフォロワー数、「いいね！」数】

日本語ページ フォロワー数 2,447 人 (前年度比 183 人増)、「いいね！」数 2,010 人 (前年度比 101 増)。

※ 2025 年 3 月 31 日時点

【協会公式 LINE アカウントの登録者数】

日本語アカウント 233 人 ※ 2025 年 3 月 31 日時点 (前年比 50 人増)

【協会 Instagram フォロワー数】

235 人 ※ 2025 年 3 月 31 日時点 (前年比 149 人増)

◆プレスリリースの発行: メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し/内容
2 月 9 日	朝日新聞	無断離婚から外国籍の人を守る

◆取材協力: メディア各社からの取材に随時協力。

② 市民活動協働事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」について

センター登録グループや事業ボランティアによる実行委員会形式で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。同フェスタはセンターで活動する登録グループの成果発表の機会とした。2024年度は「ちゃんぷる屋台村」(ESD(持続可能な開発のための教育)を目的に活動する市民団体がそれぞれの活動分野の垣根を越えて市民と交流するイベント。ESD とよなか連絡会議による) と同日開催した。

実施日	内容	場所	来場者実数(人)
9月28日 10～15時	- センターの登録グループによるステージ発表及びポスター発表(※発表で使ったパネルは引き続き、館内に掲示) - 市民グループによるバザー - 世界の料理や飲み物の販売 - 子どもの遊びコーナー(折り紙・工作、世界の楽器体験、民族衣装体験、中国切り絵体験) - 世界の民族衣装ファッションショーなど	センター	679
合 計			679

◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会を作り、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中における市民活動のさらなる活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報交換・発信を続けている。

その後、(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民活動情報サロンの受託団体が参加(市民活動ネットきずなの解散を経て2020年度からとよなかESDネットワークが参加)。豊中市スポーツ振興事業団の解散を経て現在の5団体となる。2020年度から壁新聞の発行がなくなり、各団体に共通する課題を設定して意見交換を行っている。2024年度はファシリテーションについて学ぶ共同の学習会を企画した。今後も引き続き中間支援組織のゆるやかな情報共有ネットワークとして意見交換を継続し、ニーズに応じて研修などを企画していく。

会議実施日	内容(場所)	場所
6月13日	5団体による意見交換会	センター
9月19日	5団体による意見交換会	センター
10月4日	共同デスクのスタッフ向け研修会 「ファシリテーションを学びあう会」	市民公益活動支援センター
12月26日	5団体による意見交換会	センター
3月6日	5団体による意見交換会	センター

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するため、地域で活動する国際交流をテーマとした市民団体・グループの運営に対する支援を以下の通り行った。

日付	取組の内容
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知を図り、市民団体からの問合せに対して情報提供を行った。
情報交換	例年、センター登録グループと連絡会議、とよなか国際交流フェスタ実行委員会を行っている。

◆しょうないREKへの参加

2005年、豊中市の市民公益活動推進条例による市民協働事業提案制度に基づき、市(事務局は庄内図書館)と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が実行委員会形式で立ち上げられた(しょうないREKはRecycle[リサイクル]、Event[イベント]、Kawaraban:[かわら版]の頭文字を合わせた造語)。協会としては、特に豊中市南部地域での関係機関・団体との連携を重点的に進めるため、実行委員会に参加し、イベントにも適宜協力を行っている。

当初、しょうないREKは市民協働事業提案制度によって実施される事業の実行委員会の名称であった。しかし、庄内コラボセンターが設置され、庄内図書館が同センター内に移転したことを機に、事業の実施形態が変更され

た。しょうないREKは2023年度から市民協働事業提案制度の提案団体の名称に変わり、引き続き、庄内コラボセンターにおいて市と協働で、リサイクル本の販売、イベントの実施、かわら版の発行、カフェスペース（庄内コラボセンター1階）の運営を行なっている。

特にカフェスペースでは、南部地域に暮らす外国人住民との繋がりを作ったり、庄内コラボセンターに入っている機関との交流のほか、若者事業の若者等の参加の機会としても活用した。

●しょうないREK 実行委員会

開催回数及び開催日	場所
11回 〔開催日：4月23日、5月28日、6月25日、7月30日、8月27日、9月24日、10月29日、11月24日、12月24日、1月24日、2月24日〕	市民公益活動支援センター

●世界につながる国流カフェ

開催回数及び開催日	場所
10回 〔開催日：5月23日、6月27日、7月25日、8月4日（ベトナム編）、10月24日、11月28日、12月26日（中国編）、1月23日、2月13日、3月20日（チェコ編）〕	庄内コラボセンター 1階カフェスペース

◆国際交流協会ネットワークおおさか

大阪府内の国際交流協会及び自治体を中心となって、地域の国際化、国際交流、国際協力、多文化共生に広域的に取り組んでいる。2024年度は定例の会議で情報交換を行ったほか、研修会や大阪弁護士会と座談会や相談会を実施した。

・会議

実施日	開催場所	構成団体	参加者数（人） （うち外国人）
4月 18日	大阪国際交流センター &オンライン	【構成団体】 大阪府国際交流財団、大阪国際交流センター（アイハウス）、吹田市国際交流協会、とよなか国際交流協会、とんだばやし国際交流協会、箕面市国際交流協会 【オブザーバー】 大阪府国際課、和泉市人権・男女参画室、池田市人権・文化国際課、堺市国際課、NPO タブマネ ※案件に応じて、大阪弁護士会も参加	13（3）
5月 16日			9（2）
6月 28日			8（2）
7月 16日			13（3）
8月 6日			12（1）
10月 1日			11（3）
11月 5日			11（2）
12月 17日			12（2）
12月 20日			4（1）
1月 14日			10（1）
2月 20日			6（0）
3月 26日			11（3）
			合計

・研修会、シンポジウム等

実施日	開催場所	構成団体	参加者数（人） （うち外国人）
8月 20日	大阪国際交流センター	セミナー「大阪のこれからについて『教えて、是川さん！』」	30 (12)
8月 25日	大坂わかば高校	大坂わかば高校の取組について、授業見学	22 (7)
9月 3日	大阪国際交流センター	座談会（入管法改正や国流について）	26 (12)
10月 22日	エルファ（京都市東九条）	フィールドトリップ	20 (10)
12月 12日	庄内コラボセンター	外国人のための一日相談会 in 庄内	43 (18)
3月 17日	大阪国際交流センター	大阪弁護士会 PT との意見交換会	20 (3)
合計			161 (62)

・関係機関との協議等

国際交流協会ネットワークおおさかの推薦を受け、協会職員が大阪府外国人施策有識者会議に参加した。

実施日	内容	開催場所	参加者数（人） （うち外国人）
2月18日	大阪府外国人施策有識者会議	大阪府庁	1（0）
合 計			1（0）

◆中核市ネットワーク（NATS）について

西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市はいずれも中核市であるが、府県を越えて4市が隣り合っており、現在、4市では全庁的に広域連携を進めているところであり、多文化共生の分野においても、担当課及び国際交流協会を交えて情報交換や事業面での協力を進めている。

2024年度について、定期的な情報交換を行ったほか、人材確保のための協力などを行った。

・情報交換会等の実施

実施日	内容	開催場所	参加者数（人） （うち外国人）
7月1日	ミーティング	吹田市国際交流協会	14（1）
合 計			14（1）

◆多文化まなびあいネットについて

2021年度、コロナ禍における外国人市民の生活等への影響を明らかにするため、豊中市と共同で市内在住の外国人に対し、アンケート・インタビュー調査を行い、「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告書」をまとめた。調査の実施に当たっては、豊中市は豊中市多文化共生施策推進連絡会議（事務局：豊中市）に本調査研究に関する専門部会を設置し、関係機関・団体の参加を得て行った。

2021年度に設置した専門部会をベースに、2022年度以降は地域で多文化共生に取り組む機関・団体が学び合い、協力・連携を進めていくためのプラットフォームとするため、「多文化まなびあいネット」（略称：たぶなび）という会議を設置している。2023年度は防災、2024年度はやさしい日本語をテーマに外部から講師を呼んで研修会を行った。

実施日	内容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
3月3日	やさしい日本語ワークショップ 講師：上林均寿さん（行政書士／元大阪 市職員・生野区役所多文化共生担当）	センター	13（3）
合 計			13（3）

【構成団体・機関名】

NPO法人国際交流の会とよなか、Toyonaka Vietnamese Association 在豊中ベトナム協会、Hidaya、アジアンハラルマート、とよなか国際交流協会中国人グループ、在日本大韓国民団大阪府豊能支部、NPO法人ZUTTO 居場所ぐーてん、豊中青年会議所、社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、豊中市在日外国人教育推進協議会、豊中市〔学校教育課、産業振興課、地域共生課、危機管理課、消防局北消防署・南消防署〕公益財団法人大阪府国際交流財団、とよなか都市創造研究所、とよなかESDネットワーク、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団

◆市民団体との連携及び運営支援

団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。さらに、市民団体の運営協力（助成金獲得に関する助言や推薦書の作成等）も行ったほか、市民団体との事業に共催・後援を行った。

センター登録グループ（19団体）との連絡会議を開催した。また、登録団体と協働で国際交流フェスタを開催した。

③ 留学生ホストファミリー事業

2024 年度は JASSO（日本学生支援機構大阪日本語教育センター）が春、大阪大学が春と秋にマッチングと対面式を経て交流をすることができた。大阪大学の OHP 連絡協議会（大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会）に参加したり、JASSO 担当者との意見交換も行ったりした。

2019 年度に開催して以来久しぶりに交流会を 2 回実施し、親睦を深めただけでなく、普段あまり会うことのないボランティアや留学生同士が情報共有をする機会にもなった。

また、2 月にはボランティア登録説明会を実施し、関心のある市民が新規ボランティアとして活動に参加することになった。

◆世話人会定例会：メンバー 9 人 毎月第 3 日曜日 全 12 回実施

◆ホストファミリーボランティア数：登録家族 72 家族（うち新規登録 16 家族）

◆登録説明会 ※単位：家族

実施日	参加家族数	登録家族数
2 月 2 日	24 家族	16 家族

◆留学生とのマッチング数 ※単位：組

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	15	7	22	39
JASSO	17	—	17	

◆交流会 ※単位：人

実施日	内 容	参加者数	留学生数	参加者総数
5 月 26 日	万博ピクニック	67	24	91 (21 家族)
12 月 8 日	ポットラックパーティ (すてっぷホール)	50	20	70 (18 家族)
合 計		117	44	161 (39 家族)

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等 ※単位：人

実施日	学校名	内 容	参加者数
4 月 27 日	大阪大学	対面式	42
5 月 12 日	JASSO	対面式	67
6 月 21 日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
10 月 26 日	大阪大学	対面式	20
1 月 23 日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
3 月 11 日	JASSO	来期についての打合せ	3
合 計			138

◆ニューズレターの発行（年 1 回）

<主な掲載内容> ホストファミリーと留学生の交流体験談／留学生コラム／活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	活動報告
7 月 27 日	69 号	ホストファミリーと留学生の交流体験談	フィリピン ザンビア	大阪大学春の出会いの会、JASSO 大阪日本語教育センター対面式、ホストファミリー登録説明会、万博ピクニック

◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加

9 月 28 日 ブースや受付のお手伝い

(2) おとな国際事業

① にほんご活動事業

◆ももっともつつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかにほんご・木ひる、とよなかにほんご・金あさ、にちようがちゃがちゃだん、庄内にほんご、つながれとよなかオンライン!について

にほんご活動事業の各活動は、日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって主体的に運営されている。外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流を図る場として週4日(計7活動)開催した。

今年度は新規学習者、特に近隣地域に転居してきた日本語レベルゼロ初級の参加者が増えたため、各活動のボランティアがミーティングを重ねながら柔軟に対応していた。

新型コロナウイルス感染症以前に実施していた、お料理交流会やお茶会、お楽しみ会等を久しぶりに開催し、学習者やボランティアが更に交流を深めていた。

今年度は日本語ボランティアが集まり語り合う場を4回設けた。各活動の日頃の様子や工夫について共有したり運営について相談したりする場となり、活動グループの枠を越えてボランティア同士が繋がる機会となった。

豊中市立図書館が実施したアンケートに千里にほんごと庄内にほんごの学習者が協力したり、豊中市立庄内図書館で実施した「外国人のための図書館ツアー」に庄内にほんごの学習者とボランティアが参加したりした。外国人市民にとって少し敷居の高かった図書館が、安心して利用できる場だということがわかり、今後の利用につながるきっかけとなった。

事業名	曜日	実施時間	実施回数	参加者数(人)(うち外国人)
ももっともつつかえるにほんご	月	10:00~12:00	44回	1,393 (770)
千里にほんご	木	10:00~11:30	46回	1,001 (435)
とよなかにほんご・木ひる	木	13:30~15:00	44回	2,163 (1,393)
つながれ とよなか オンライン!	木	19:00~20:00	43回	652 (411)
とよなかにほんご・金あさ	金	10:30~12:00	48回	3,184 (1,847)
にちようがちゃがちゃだん	日	10:00~12:00	48回	1,263 (698)
庄内にほんご	日	13:00~15:00	38回	608 (339)
合 計			311回	10,264 (5,893)

●日本語関連研修等への参加

- ・10月4日(金) 識字・日本語豊能ブロックスキルアップ研修@池田市ダイバーシティセンター
- ・10月23日(水) 市町村識字・日本語学習担当者連絡会議@大阪府新別館北館

●日本語自主グループとの情報共有

- ・自主グループとメール等で密に情報共有をしている。

◆外国人ママのための場所『おやこ』[おかまち・しょうない・せんり]

「保育がない」「子どもが慣れない」「家から遠い」などの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人女性や、子どもがある程度大きくなった外国人女性が気軽に参加できる居場所を提供している。市内3か所の図書館(岡町図書館、庄内図書館、千里図書館)との共催で、子育て中の外国人のママとボランティア(ボランティアも子育て中のママ)の交流活動を行っている。参加者もボランティアも子連れでも参加できる活動として、安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

2024年度は、定期的な活動に加え、各施設におけるお祭りへの出店や長期休み中のイベントを開催した。なお、「しょうない・おやこでにほんご」はボランティアの人数の関係から、今年度も隔週で活動している。

本活動は、日本語学習を中心とした活動ではなく、ママ友同士、地域でのつながりを作りながら交流することを中心としたものである。

外国人ママのための場所『おやこ』[おかまち・しょうない・せんり]参加者	759(うち外国人257)
-------------------------------------	---------------

●おかまちおやこ

活動場所	岡町図書館3階、センターなど
活動期間／活動回数	2024年4月16日～2025年3月11日／33回
活動日時	毎週火曜日 午前10：00～12：00
参加者数（人）	のべ364（うち外国人参加者193【おとな137／子ども56】、ボランティア171【おとな150／子ども21】 ※ボランティアのうち外国人0【おとな0／子ども0】）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月16日	おしゃべり会	10月22日	秋まつりの準備
4月23日	物々交換会	10月29日	秋まつり
5月7日	おしゃべり会（物々交換）	11月5日	おしゃべり会
5月14日	学校給食施設の見学	11月12日	みかん狩り
5月21日	おしゃべり会	11月19日	おしゃべり会
6月4日	お料理会	11月26日	クラフト（スノードーム）
6月11日	あじさいクラフト	12月3日	おしゃべり会
6月18日	おしゃべり会	12月10日	お楽しみ会&クラフト
6月25日	イラスト講習会	1月14日	おしゃべり会
7月2日	七夕製作	1月21日	おもちゃパーティー
7月9日	かき氷パーティー	1月28日	節分クラフト
9月10日	おしゃべり会	2月4日	おしゃべり会
9月17日	コロナフレイル・ヨガ	2月18日	お料理会（サモサ）
9月24日	クラフト（かかし）	2月25日	ひなまつりクラフト
10月1日	おしゃべり会	3月4日	図書館職員による絵本読み聞かせ
10月8日	おしゃべり会	3月11日	お見送り会
10月15日	お料理会（餃子）		

※ 活動内容に応じて、場所をセンターに変更して活動を行った。

●しょうないおやこ

活動場所	庄内図書館、庄内コラボセンター（市民公益活動支援センター、会議室、料理室）など
活動期間／活動回数	2024年4月16日～2025年3月18日／20回
活動日時	隔週火曜日 午前10：00～12：00
参加者数（人）	のべ143（うち外国人参加者43【おとな22／子ども21】、ボランティア100【おとな75／子ども25】 ※ボランティアのうち外国人8【おとな8／子ども0】）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月16日	おしゃべり会	11月5日	おしゃべり会
4月23日	おしゃべり会	11月19日	おしゃべり会&公園遊び
5月21日	おしゃべり会	12月3日	おしゃべり会
6月4日	おしゃべり会	12月17日	おしゃべり会
7月2日	フラダンス	1月7日	小学生による絵本読み聞かせ
7月16日	おしゃべり会	1月21日	おしゃべり会
9月3日	おしゃべり会	2月4日	おしゃべり会
9月17日	おしゃべり会	2月18日	おしゃべり会
10月1日	おしゃべり会	3月4日	お料理会（餃子）
10月15日	ヨガ	3月18日	小学生による絵本読み聞かせ

●せんりおやこ

活動場所	千里図書館集会室、千里公民館料理室など
活動期間／活動回数	2024年4月23日～2025年3月11日／35回
活動日時	毎週火曜日 午前10時～12時
参加者数（人）	のべ262（うち外国人21【おとな14／子ども7】、ボランティア241【おとな159／子ども82】（ボランティアのうち外国人0【おとな0／子ども0】）

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月23日	読み聞かせ	10月15日	物々交換会
4月30日	こいのぼりクラフト	10月22日	ハロウィンクラフト
5月7日	母の日クラフト	10月29日	ハロウィン
5月14日	物々交換	11月5日	ピクニック
5月21日	ピクニック	11月12日	秋クッキング（さつまいもご飯、豚汁）
6月4日	おしゃべり会	11月19日	秋のクラフト
6月11日	父の日クラフト	11月26日	おしゃべり会
6月18日	風船遊び	12月3日	石鹸作り
6月25日	お料理会	12月10日	おしゃべり会
7月2日	七夕まつり	12月17日	Year end party
7月9日	学期末パーティー	1月14日	書き初め
8月20日	夏祭り	1月21日	クッキング（たこ焼き）
9月3日	おしゃべり会	1月28日	節分
9月10日	敬老の日カード作り	2月4日	バレンタインクラフト
9月17日	お月見クッキング	2月25日	ひなまつりクッキング（ちらし寿司、すまし汁）
9月24日	読み聞かせ	3月4日	中国伝統文化の紹介
10月1日	おしゃべり会	3月11日	お楽しみ会
10月8日	ミニ運動会		

●3 おやこ連絡会

実施日	内容	場所	参加者数（人）
4月23日	ミーティング	オンライン開催	10 （うちボランティア6人、職員・図書館職員4人）
9月17日	ミーティング	オンライン開催	10 （うちボランティア9人、職員1人）
1月28日	ミーティング	オンライン開催	11 （うちボランティア5人、職員・図書館職員6人）
合 計			31

① 多文化共生推進事業

◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人が異文化に触れる機会を作るため及び講師を務める外国人のエンパワメントの機会を作るため、料理を通じた国際理解プログラム「世界を食べよう」を開催している。地域在住の外国人が講師を担当している。「世界を食べよう」は飲食を伴う活動であることから、新型コロナ拡大防止のため、2020年度以降、調理を含む活動を見合わせていたが、2023年5月に新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行したことを受け2023年度より調理を再開している。

調理を含む通常の「世界を食べよう」の他、料理のお話を通じた国際理解プログラム「世界を食べよう～美味しい話編」と合わせて3回開催した。調理を伴う活動としては、地域に暮らす外国人を講師として招き、世界の様々な国や地域の文化、歴史についてお話を聞きながら参加者とともに調理をする「ペルー編」に加え、外国人向けに「外国人のためのお弁当作り講座」を開催した。

また、食の観点から自国紹介のお話をしていただく「美味しい話編」では、普段センターへの来館が難しい新たな参加者とのつながりづくりを目的にセンターを飛び出し「MORGEN Café and galley +（豊中市柴原町）」で開催した。

●世界を食べよう

開催日	実施内容	講師名	場所	参加者数（人） （うち外国人）
6月29日	ペルー料理	山本ロサ	センター	17（2）
11月16日	美味しい話 台湾編	溝越茜	MORGEN Café and gallery+	9（0）
3月25日	外国人のためのお弁当作り講座	中岡麻子	センター	15（12）
合 計				41（14）

●世界の家庭料理レシピ集『世界を食べよう』の頒布

このほか、2020年度末に発行した“世界の家庭料理レシピ集『世界を食べよう』”の頒布や広報を行った。

レシピ集『世界を食べよう』の有料頒布数	118冊
---------------------	------

◆多文化多言語セミナー

広く市民を対象として、気軽に参加できる国際理解や多文化共生についての学びの場を開催した。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
10月5日	外国人のための日本文化紹介事業 お寺で坐禅を体験しよう	東光院萩の寺	16(15)
10月19日	難民と共に、難民の友に	漆原比呂志さん(アルペなんみんセンター地域連携コーディネーター)	26(6)
12月5日	<共催事業> 「真実は報道されているのか〜現地で見たガザ、ヨルダン川西岸地区、イスラエル〜」	西谷文和さん(ジャーナリスト)、川瀬佐知子さん(大阪赤十字病院) 主催：国際交流の会とよなか	35(5)
合 計			77(26)

◆「パンソリを楽しもう〜安聖民パンソリライブ〜」

パンソリ唄者と鼓手による演奏とトークをすてっぷホールで開催した。とよなか人権文化まちづくり協会ととよなか男女共同参画推進センターすてっぷが共催、在日本大韓民国民団大阪府豊能支部の協力で開催。

実施日	テーマ	講師	参加者数(人) (うち外国人)
4月27日	パンソリを楽しもう 〜安聖民パンソリライブ〜	安聖民さん(パンソリ唄者) 李昌燮さん(鼓手)	120(27)
合 計			120(27)

◆英語を通じた国際理解プログラム English Day

英語を通じて様々な国の文化や習慣などについて学ぶ“English Day”を新たに実施した。広く市民を対象に外国人講師の自国紹介を、簡単で平易な英語のみで行うプログラムで、国際理解を推進すること、日本語では難しいが英語であれば会話ができるという外国人のエンパワメントならびに地域在住の外国人との交流の場とすることを目的に実施した。

実施日	テーマ	講師	場所	のべ参加者数(人) (うち外国人)
10月22日	ネパール編	ガシュレスタ ラジャニ	センター	28(1)
1月28日	チェコ編	ヒルドロヴァー ヘレナ	センター	24(5)
合 計				52(6)

◆コモとスースの絵葉書プロジェクト

市民から募集した協会キャラクター「コモとスース」のイラストの絵葉書を5枚1組で作成し、2017年度より継続して頒布している。

◆国流シネマカフェ／とよなかシネコン

国流シネマカフェは、国際交流や人権に関する映画を上映し、社会課題について新たな気づきを促す企画として実施している。2024年度はとよなかシネコンの一部として実施した(場所はすてっぷホール)。

とよなかシネコンは、市内公共施設が取り組む課題や社会問題について映画を通して考えるきっかけにしてもらうため、市内公共施設と協働で行っている。コラボ企画「とよなかシネコン」の参加団体はとよなかESDネットワーク、とよなか男女共同参画推進財団、中央公民館、庄内公民館、とよなか市民環境会議アジェンダ21と協会。

	開催日	上映作品	参加者数（人）（うち外国人）
第1回	12月1日	オープンハイマー ※英語音声、日本語字幕	56（2）
合 計			56（2）

*…とよなかシネコン全体のスケジュール、上映作品、担当機関・団体については以下のとおり。

[1]	12月1日	「オープンハイマー」	【とよなか国際交流センター】
[2]	12月7日	「今のほうが その続き」	【中央公民館】
[3]	12月14日	「アランラブソティ」	【人権平和センター豊中】
[4]	1月8日	「ザ・ニュー・ブリード」	【市民公益活動センター】
[5]	1月18日	「聖地には蜘蛛が巣をはる」	【とよなか国際交流センター】
[6]	1月26日	「食べることは生きること〜アリス・ウォータースのおいしい革命〜」	【環境交流センター】

（３）持続可能な地域づくり事業

① 市民ゼミナール・メディア・リテラシー

実施日	テーマ	講師	場所	参加者数（人） （うち外国人）
2月24日	メディア・リテラシー入門講座 ～こどもとメディア～	田島知之さん（京都府立大学）、登丸 あすかさん（文京学院大学）	センター	12(4)
2月24日	メディア・リテラシーってなに？～ 自分たちで動画を作ってみよう～	田島知之さん（京都府立大学）、登丸 あすかさん（文京学院大学）	センター	6(4)
合 計				18(8)

市民ゼミナール・メディア・リテラシーでは、[1] 参加者同士の「対話の文化」を作ること、[2] 参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、[3] マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することを通して、「多様な人々が尊重される地域づくり」を推進することを目指している。

昨年度ボランティア向けに開催した研修が好評だったため、2024年度も「子どもとメディア」をテーマに、子どもに関わるボランティアや支援者・保護者向けにメディア・リテラシーの講座を開催した。

また同日に中高生向けにメディアリテラシーについて学びながら、動画作成するワークショップを開催した。

② 持続可能な開発のための教育（ESD）・防災・地域貢献

◆ESD とよなか連絡会議

国際連合が提唱し、2005 年から始まった「持続可能な開発のための教育（ESD）の 10 年」を受け、ESD とよなかは 2005 年 2 月にキックオフを行った。豊中市と市民活動中間支援団体（6 団体）が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら 10 年間活動を行ってきた。その活動内容を踏まえ、2015 年に ESD とよなか連絡会議をスタートさせ、現在も関係団体で協働して継続的に活動を行っている。

2023 年度は各構成団体のコロナ禍以降の取組状況の情報共有のほか、ESD とよなか連絡会議の進め方について意見交換を行い、今後の進め方について認識のすり合わせを図った。

実施日	参加者数（人） （うち外国人）	開催場所	参加者数（人） （うち外国人）
6月25日	各団体の取組紹介、情報交換、意見交換	豊中市立郷土資料館	12（2）
8月22日	各団体の取組紹介、情報交換、意見交換	センター	12（2）
2月14日	各団体の取組紹介、情報交換、意見交換及び次年度の活動計画	センター	12（2）
合 計			36（6）

【構成団体】 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、（一財）とよなか人権文化まちづくり協会、
（一財）とよなか男女共同参画推進財団、（公財）とよなか国際交流協会、NPO 法人とよなか ESD ネットワーク
豊中市 [市民協働部人権政策課、環境部ゼロカーボンシティ推進課、教育委員会事務局 社会教育課、
市民協働部地域連携課（南部地域係）、市民協働部 人権政策課人権平和センター螢池]

◆国際理解教育などの講師の派遣など

全部で51件、87人（13か国・地域）を派遣した。内容も講師の出身国・地域や地域の生活・文化・言葉の紹介のほか、協会の事業の紹介、豊中市の多文化共生に関する取組や制度の現状、外国人の状況など多様であり、対象も学校や、市役所職員や一般向けセミナーなど幅広く対応した。また、今年度も希望がある団体はZoomでの実施とした。

	実施日	派遣先、内容	講師 (ルーツを記載)	講師の人数 (人)
1	5月14日	追手門学院大学国際学部（2年生演習科目）	日本（職員）、タイ	2
2	5月25日	大阪大学出版会（「一歩進んだ日本語教育概論」）	日本（職員）	1
3	6月3日	豊中市立第二中学校（国際理解教育）	中国、韓国、タイ	3
4	6月8日	豊中市教育センター（教員養成講座「マチカネ先生塾」）	日本（職員）	1
5	6月8日	特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク （全国ワークショップでの事例紹介）	日本（職員）	1
6	6月12日	枚方市教育委員会（社会教育人権講座）	日本（職員）	1
7	6月26日、 6月29日	大阪市立総合生涯学習センター（地域日本語講師向け研修）	日本（職員）	1
8	7月2日	豊中市社会福祉協議会（協会の取り組みについて）	日本（職員）	1
9	7月3日、 17日、31日 10月9日	兵庫県国際交流協会（地域日本語教育コーディネーター研修）	日本（職員）	1
10	7月5日	豊中市立緑地小学校（国際理解教育、児童向け講演会）	エクアドル	1
11	7月7日	コミュニティ政策学会（協会の事例報告）	日本（職員）	1
12	7月11日	大阪大学大学院言語文化研究科（一歩進んだ日本語教育概論）	日本（職員）	1
13	7月15日	京都市国際交流協会（日本語学習支援者育成研修2024）	日本（職員）	1
14	7月19日	関西大学北陽高等学校（2年生対象人権講演会）	エクアドル	1
15	7月26日	豊中市立原田小学校（外国にルーツを持つ子どもの課題と とよなか国流の取り組みについて）	フィリピン（職員）	1
16	8月3日	庄内コラボセンター（小学生向け料理講座「子どもパティ シエ体験～世界の定番スイーツを作ろう～」）	ブラジル	1
17	8月6日、 8月7日	豊中市教育センター（教職員2年目研修）	フィリピン（職員）	1
18	8月29日	豊中市立箕輪小学校（多文化共生）	中国	1
19	9月2日	一般財団法人大阪府人権協会（大阪狭山市職員人権研修）	日本（職員）	1
20	9月3日、4日、 11日、12日	公益社団法人三重県人権教育研究協議会（人権保育専門講 座）	日本（職員）	1
21	9月13日	豊中市立原田小学校（多文化共生、在日外国人教育）	日本（職員）、ネパ ール	2
22	9月18日	豊中市立第四中学校（国際理解、多文化共生）	中国、インドネシア	2
23	9月25日	枚方市多文化共生教育研究会（「よみかき教室」指導員向 け研修）	日本（職員）	1
24	10月8日	兵庫県三田市立八景中学校（人権講演会）	日本（職員）	1
25	10月9日	大阪府北部コミュニティカレッジ（講座「お国の歴史や文 化、芸術や生活習慣など」）	エクアドル	1
26	10月10日	大阪府立福井高等学校（1年生対象総合学習）	フィリピン（職員）	1
27	10月18日	宝塚市国際交流協会（日本語交流活動について）	日本（職員）	1
28	10月24日	豊中市立庄内南小学校（国際理解）	中国	1
29	10月24日	猪名川町国際交流協会（多文化寄り添い講座）	日本（職員）	1
30	10月24日、26日 11月13日、20日 12月2日、11日	大阪府立豊中支援学校（国際交流と異文化体験）	韓国	1
31	10月26日	一般社団法人豊中青年会議所（とよなかMIRAI FESTIVAL）	インドネシア、タ イ、韓国、中国、ベ トナム	6
32	10月30日	枚方市教育委員会（「よみかき教室」指導員向け研修）	日本（職員）	1
33	11月1日	豊中市立第一中学校（国際理解教育）	韓国、中国、タイ、	6

			ベトナム、フィリピン、ネパール	
34	11月5日、11月11日	芦屋市役所（外国人意見交換会）	日本（職員）	1
35	11月7日	豊中市立庄内西小学校（国際理解教育）	中国	1
36	11月12日	豊中市人権教育研究協議会（外国にルーツを持つ子どもに対する家庭での支援について）	日本（職員）、フィリピン	2
37	11月12日	鳥取県国際交流協会（多文化共生）	日本（職員）	1
38	11月16日	NPO法人市民ネットすいた（協会の取り組みについて）	日本（職員）	1
39	11月20日	茨城県国際交流協会（多文化共生）	日本（職員）	1
40	11月27日	和歌山県国際交流協会（「やさしい日本語」ボランティア研修会）	日本（職員）	1
41	11月28日	大阪府立池田高等学校（人権ロングホームルーム（多文化共生講演会））	韓国、ベトナム、中国、台湾、タイ、スリランカ	9
42	11月29日	大阪市立阿倍野市民学習センター（やさしい日本語ボランティア研修会）	日本（職員）	1
43	12月8日	NPO法人 School Voice Project（庄内フィールドワークでの事業紹介）	フィリピン（職員）、スリランカ（職員）	2
44	1月10日	NPO法人 ZUTTO（外国人女性の相談対応について）	日本（職員）	1
45	1月10日	NPO法人国際交流の会とよなか（相談対応について）	日本（職員）	1
46	1月14日	豊中市立第九中学校（総合的な学習）	インドネシア、中国、韓国、台湾、タイ	9
47	1月15日	豊中市立第四中学校夜間学級（養護教諭の職務と保健室経営研究会とSSW研究会の合同研修会）	フィリピン（職員）	1
48	1月15日	守口市教育研究会民族教育部会（外国にルーツを持つ子どもたちの現状と協会の取り組みについて）	フィリピン（職員）	1
49	1月23日	豊中市社会福祉協議会（阪神淡路大震災30年シンポジウムパネルディスカッション）	中国（職員）	1
50	3月6日	関西大学北陽中学校（人権講演会）	スリランカ、フィリピン	1
51	3月10日	関西大学北陽高等学校	スリランカ、フィリピン	1
合 計				84

◆多文化共生の推進などに関する委員の派遣等

協会の取組や実績に関連して、豊中市以外の機関・団体等から委員会への参加を依頼された。

実施日	内容	場所	のべ参加者数 (人)
2月18日	大阪府外国人施策有識者会議 [委員] ・大阪府在日外国人施策の実施状況（令和6年度）について	大阪府庁	1 (0)
2月27日	一般社団法人多文化専門職機構 [評価委員] ・令和6年度地域日本語教育コーディネーター研修・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進のためのコーディネーター研修（文化庁委託事業）	オンライン	1 (0)
合 計			2 (0)

◆マイクロアグレッション啓発パンフレット作成

2023年度から、職員や多言語スタッフのマイクロアグレッションに対する共通認識を高めるとともに、協会事業の活動に関わるボランティアが自身の無自覚な偏見や思い込みに気付き、マイクロアグレッションを含む差別的な言動の回避や、第三者としての介入を促すための媒体（ツール）制作に向けて、参加者を集め、月1～2回のミーティングを行い、2024年度の11月に完成をした。協会が多様な外国ルーツをもつ人々にとって、安心・安全な場になることをめざし、パンフレットを用いたボランティア向けの研修の開催も行った。

実施日	内 容	場 所	のべ参加者数（人）
4月21日、5月6日、5月19日、6月3日、6月16日、7月21日、8月18日、9月1日、9月16日、11月10日	マイクロアグレッションのパンフレット作成について	センター	75
合 計			75

<その他>

実施日	内 容	参加者数（人）
5月19日	「マイクロアグレッション:介入編～自分にできることを考えよう～」	6 (4)
11月10日	「それはあなたが気にしすぎ…と言ってしまふ前に学んでおきたいこと～在日外国人が経験するマイクロアグレッション（見えにくい偏見・差別）とは～」	9 (7)
合 計		15 (11)

◆ネパール開発教育教材作成プロジェクト

ネパール人児童生徒が在籍する学校が市内でも増加しており、センターの相談事業にも文化の違いなどを背景とした学校でのトラブルなどの相談が増えている。そのような状況を踏まえ、学校でネパール理解を進めるための開発教育の教材開発を行う。2025年度に完成予定。

実施日	テーマ	講師	場所	のべ参加者数（人） （うち外国人）
4月 15日	教材開発会議	佐藤友紀さん（開発教育協会代表理事、元教員）、西上寿一さん（関西セミナーハウス開発教育研究会、元教員）、丸山まり子さん（関西セミナーハウス開発教育研究会、元教員）	センター	5(0)
5月 23日	教材開発会議		センター	5(0)
6月 29日	教材開発会議		センター	5(0)
7月 12日	上牧小学校（奈良）での模擬授業		上牧小学校	6(2)
9月 4日	市教研での模擬授業		克明小学校	6(2)
10月 28日	教材開発会議		センター	5(0)
11月 25日	教材開発会議		センター	5(0)
12月 5日	寺内小学校での模擬授業		寺内小学校	8(1)
3月 13日	教材開発会議		センター	5(0)
			合 計	50(5)

◆やさしい日本語啓発

豊中市からの委託を受け、「豊中市やさしい日本語啓発事業」を実施した。主な内容としては、①やさしい日本語啓発教材の作成、②講座用電子資料の作成、③啓発動画の作成、④やさしい日本語啓発グッズの作成、⑤ワークショップならびに出前講座の開催ならびにアンケート調査実施である。

① やさしい日本語啓発教材の作成

A5サイズ、全16ページ（表紙、裏表紙を含む）のテキスト（冊子）およびワークシートを作成した。テキストはワークショップ、出前講座で活用したほか、希望する市民にも配布し、やさしい日本語の普及、啓発に努めた。テキストとワークシートは、豊中市ならびに当協会ホームページにおいてダウンロード可能な形で公開している。なお、テキスト作成に当たっては教材等検討・作成委員会を実施し、有識者の意見を取り入れながら作業を行った。

教材等検討・作成委員	
【委 員】 上林均寿、船見和秀、安田乙世、横田彩子	
【事務局】 公益財団法人とよなか国際交流協会	
【オブザーバー】 豊中市市民協働部人権政策課	
実施回数	参加人数（うち外国人）
第1回 8月6日	8 (0)
第2回 8月30日	8 (0)
第3回 10月1日	8 (0)

② 講座用電子資料の作成について

テキストの内容を基本として、やさしい日本語の電子資料を作成した（全28ページ）。電子資料は主に市職員が出前講座やワークショップを実施する際に使用するものとして作成した。

③ 啓発動画の作成について

テキストの内容を踏まえ、やさしい日本語の啓発動画（MP4形式、11分55秒）を作成した。動画は豊中市ならびに当協会ホームページで公開となっている。

④ やさしい日本語啓発グッズの作成

ポスター（A3サイズ、A4サイズ）、ステッカー2種類、缶バッジ3種類を作成した。ステッカーおよび缶バッジはワークショップ及び出前講座の受講者に配布した。ポスターは市内公共施設、学校園、阪急沿線（豊中駅、岡町駅、曽根駅）、大阪モノレール沿線（蛍池駅、少路駅、柴原駅、万博記念公園前駅）等へ掲示依頼を行った。加えて、SNSでポスター掲示協力者を募った（協力先3件）。

⑤ ワークショップならびに出前講座の開催

関心のある市民を対象に、ワークショップの実施回数4回、合計参加者数108人、出前講座の実施回数17回、合計参加者数746人、合わせて合計21回、合計参加者数854人となった。また、各ワークショップおよび出前講座で行ったアンケートについては参加者アンケートを実施した。

○ワークショップの実施日時及び参加者数について

	日時	会場	講師	参加者数
1	12月 7日	庄内公民館	船見和秀	15
2	12月 13日	千里公民館	安田乙世	18
3	1月 19日	センター	上林均寿	30
4	1月 23日	センター	船見和秀	45
合 計				108

○出前講座の実施日時及び参加者数について

	日時	会場	参加者	講師	参加者数
1	7月 25日	すてつぷ	職員、市民	山野上隆史	147
2	11月 22日	MARU International	職員	上林均寿	16
3	11月 23日	センター	市民	山野上隆史	34
4	12月 2日	豊中市立第一中学校	生徒	上林均寿	79
5	12月 4日	豊中市立第一中学校	生徒	上林均寿	67
6	12月 10日	そんぼの家豊中南曽根	職員	安田乙世	16
7	12月 18日	豊南西子ども園	教職員	山根絵美	41
8	12月 23日	箕面自由学園幼稚園	教職員	船見和秀	20
9	12月 24日	豊中市立庄内南小学校	教職員	安田乙世	35
10	1月 9日	豊中市立刀根山小学校	教職員	安田乙世	40
11	1月 17日	人権平和センター	豊中市市民協働部	上林均寿	30
12	1月 22日	第四中学校夜間学級	教職員	船見和秀	8
13	1月 28日	豊中市立北丘小学校	北丘小学校、東丘小学校、第八中学校教職員	上林均寿	30
14	1月 31日	豊中市立岡町図書館	職員	船見和秀	118
15	2月 6日	上野小学校	教職員	安田乙世	20
16	2月 7日	千里公民館	職員	船見和秀	5
17	2月 13日	地域共生センター	豊中市社会福祉協議会	安田乙世	40
合 計					746

(4) 持続可能な人づくり事業

① ボランティア研修事業

日本語交流活動のボランティア希望者を対象に、年1回（秋）、ボランティアの養成講座を実施している。外国人を取り巻く現状や社会課題、協会が大切にしている「交流型」の日本語活動の考え方について学ぶ。

今年度は講座の中で「現役ボランティアから、各活動の説明・質疑応答ブース設置」をすることで、ボランティア希望者が活動見学に入る前にできる限りイメージが付くように心がけた。その後、実際の活動見学の機会を設定し、ボランティア希望者が活動に参加するまでのサポートに取り組んでいる。また、ボランティアが活動に継続して参加しやすいように、一定期間が経った頃に研修を行っている。

今年度も学習者人数に対してボランティアが少ない現状を踏まえ、活動参加前に複数の活動を見学できるようにし、実際に1つ以上の活動に参加することができるようにした。新規ボランティアが活動に参加する時の選択肢が増え、活動の幅と継続が向上した。

年度末には「新規ボランティア同期会」を開催し、活動に入ってから状況や思い等を共有し、活動を継続するヒントを得る機会となった。

「多文化子育て支援ボランティア養成講座」は、3回目の講座が警報発令のため対面開催からZoomに切り替わり、参加者同士の交流ができないまま各活動の見学になってしまったため。ボランティアフォローアップ研修を開催し、参加者同士が活動運営について改めて考える機会を設けることができた。

また、学習者、利用者、ボランティア、スタッフ等、協会の事業に関わる人たちが安心して活動し、交流する場をつくるために、マイクロアグレッション研修を実施した。「マイクロアグレッション」とは何か事例を通して学び、実際にマイクロアグレッションが目の前で起こった時にどのような対応をするか等ワークショップを通して共に考える場を提供した。

◆日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数（人）
第1回	11月9日 10:30～12:30	「それはあなたが気にしすぎ…と言ってしまう前に学んでおきたいことー在日外国人が経験するマイクロアグレッション（見えにくい偏見・差別とは）」	朴利明（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター[ヒューライツ大阪]）	41
第2回	11月9日 13:30～15:30	「とよなか国際交流協会の取り組み、豊中市に暮らす外国人のこと」	大庭みゆき（公益財団法人とよなか国際交流協会）	35
第3回	11月23日 10:30～12:30	「ボランティアって何だろう～地域の日本語交流活動から～」	山野上隆史（公益財団法人とよなか国際交流協会）	37
第4回	11月23日 13:30～15:30	「はじめよう！日本語交流活動～各活動の紹介～」	現役ボランティアの皆さん	53
合 計				166

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数（人）
第1回	5月14日 10:00～12:00	「ボランティアをはじめよう！～子育て支援ボランティアが大事にしたい視点とは？～」	市居利絵さん（社会福祉法人大阪ボランティア協会）	16
第2回	5月21日 10:00～12:00	「『性の多様性から「じぶん」について考える』～誰もが排除されない社会をめざして 子どもたちとの出会いからみえてきたこと～」	森本宮仁子さん（（社）福 聖和共働福祉会事務局長、NPO 法人 IKUNO 多文化ふらっと代表理事）	13
第3回	5月28日 10:00～12:00 ※大雨警報のため対面開催ではなくZoom配信	協会／『おやこでにほんご』・『多文化子ども保育にこにこ』の活動紹介	協会職員	19
合 計				48

◆多文化子育て支援ボランティアフォローアップ研修

実施日	テーマ	講 師	参加者数（人）
7月6日 10:00～12:30	「性の多様性から『じぶん』について考える」	田中一步さん・近藤孝子さん（にじいろ i-Ru）	17

◆ボランティア研修（マイクロアグレッション研修）

対象：とよなか国際交流協会事業ボランティア

	実施日	テーマ	講 師	参加者数（人）
第1回	1月17日 14:00～16:00	それはあなたが気にしすぎ…と言ってしまいう前に学んでおきたいこと～在日外国人が経験するマイクロアグレッション（見えにくい偏見・差別）とは～	朴利明さん（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪））	43
第2回	1月18日 14:00～16:00			12
			合 計	55

(5) 子ども国際事業

① ～平和と共存のための～おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人が講師となり、国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師にとっては持っている力を発揮する機会になった。インターンシップ実習で受け入れている大学生が中心となって企画し、講師と打ち合わせを重ねて、楽しく体験できるプログラムを企画・実施した。

	実施日	テーマ	参加者数 (人) (うち外国人)	参加者内訳 () はうち外国人
第1回	8月 24日	ベトナムを知ろう	29 (4)	子ども 13 (1)、保護者 12 (1)、ボランティア・スタッフ 4 (2)
第2回	10月 5日	チョアチョア・コリアンデー	16 (7)	子ども 8 (3)、保護者 4 (2)、ボランティア・スタッフ 4 (2)
第3回	1月 11日	インドネシアを知ろう	10 (3)	子ども 3 (1)、保護者 3 (0)、ボランティア・スタッフ 4 (2)
合 計			55 (14)	子ども 24 (5)、保護者 19 (3)、ボランティア・スタッフ 12 (6)

② 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方による「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。場所はセンター。2024年度は参加者が増えたため、高学年と低学年に分かれて行うプログラムも実施した。また、子どもの頃つどいに参加していた先輩が、新たに民族講師として活動に参加するようになった。昨年度発足した保護者会では毎月会合を開催したり、積極的に子どものための企画を提案したりした。

民族講師（ソンセンニム）：金 仁淑、高 美和、安有香

	実施日	内 容	参加者数 (人) (うち外国人)	教員・大人 (人) (うち外国人)
—	4月 20日	実行委員会ミーティング	—	7 (3)
第1回	5月 18日	開校式、名札・自己紹介カードづくり等	13 (13)	22 (10)
第2回	6月 22日	端午の話、工作、ハングルカルタ等	14 (14)	22 (12)
第3回	9月 21日	チュソクや地理について、工作など	9 (9)	18 (9)
第4回	10月 19日	ハングルについて、工作など	9 (9)	14 (7)
第5回	11月 16日	フィールドワーク「大阪コリアタウンに行こう！」	19 (19)	21 (12)
第6回	12月 21日	カルタ大会・多文化フェスティバルに参加しよう	15 (15)	22 (11)
第7回	1月 25日	お正月あそび、ホットク・トッポッキ作り	14 (14)	24 (11)
第8回	2月 15日	カルタ大会、文集作成など	11 (11)	20 (8)
第9回	3月 15日	修了式、工作など	15 (15)	31 (14)
小 計			119 (119)	201 (97)
合 計			320 (216)	

◆ハギハッキョ（夏期学校）

日程	名前	場所	参加者数 (人)
7月 25日、26日	第45回ハギハッキョ（夏期学校）	豊中市立東豊中小学校	21
7月 30日、31日	ハギハッキョキャンプ	わっぱる	12
合 計			33

2. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

(1) おとなサポート事業

① 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談 毎週月～土曜日 11:00～16:00		相談件数（臨時通訳除く） 計 : 2,864 件
相談員		吉嶋かおり（金）、ラボルテ雅樹（木）、職員（月・火・土）
コーディネーター		ジャ・チン（月・木・金・土）
多言語スタッフ	中国語	ジャ（月・木・金・土）
	韓国・朝鮮語	ジェイ（木・金・土）
	フィリピン語／英語	マリア（木・金）
	タイ語	ブレーン（木・金）
	ベトナム語	ハン（木・金）
	スペイン語	（テレサ：事前予約制）
	ポルトガル語／英語	エリアネ（木・金）
	ネパール語	バティ（木・金・土）

〔相談の件数について〕

2024 年度の相談件数は 2,864 件であった。2019 年度まで 1,000 件前後だったが、2020 年度に専門相談員と多言語スタッフが常駐する相談日を増設し、体制を強化した結果 1,848 件に増加した。その後、新型コロナを含めた「医療」の相談が増加し、2021 年度に 3,376 件、2022 年度は 2,456 件、2023 年度は 2,613 件となった（以下、相談項目を取り上げる場合は＜ ＞で記載）。2024 年度は前年度比で相談件数が増加し、さらに相談者が抱える課題は複合化している様相がある。

国籍別の相談件数では、ネパールが 3 割を越え、前年度に引き続いて一番多い。次いで、中国、フィリピン、ベトナムの順となっている。

▽相談者の国籍

ネパール国籍の相談者が 34.1%（前年度 33.2%）と引き続き増加が著しい（〔参考〕2018 年度は 8.7%）。中国 20.3%（前年度 14.3%）、フィリピン 15.0%（前年度 18.5%）、ベトナム 7.2%（前年度 2.6%）、日本国籍 4.8%（うち、日本国籍取得や親が外国籍など外国にルーツをもつ相談者は 3.2%。前年度 6.5%）、韓国 3.9%（前年度 5.4%）、タイ 2.3%。

なお、日本国籍の相談者は 104 件（前年度 116 件）で、そのうち使用言語が日本語以外の相談は 48 件（前年度 86 件）。外国籍で日本語の相談を行ったのは 408 件（前年度 487 件）であり、40 か国（前年度 46 か国）から相談があった。

在留資格別の相談件数では、活動に基づく在留資格である「家族滞在」が 31.5%となった。身分又は地位による在留資格で相対的に安定した在留資格である「永住者」「定住者」「日本人の配偶者等」からの相談の合計 22.1%を 2 年連続で上回っている。「家族滞在」について、さらに出身別に見るとネパールが 61%を占め、年代別に見ると 20 代が最も多い。相談内容別に見ると＜学校＞に関する相談が約 3 割を占め、次いで＜日常生活＞ならびに＜日本語学習＞に関する相談が多い。ネパール国籍で「家族滞在」の相談は、10 歳代、20 歳代が多く、親に伴って来日後の、就学、日本語学習、進路、その他生活全般の問題が寄せられている。

在留資格別の相談件数について、活動に基づく在留資格では「家族滞在」の次に「技術・人文知識・国際業務」が多く、出身別に見るとこれもネパールが 41.2%を占めている。相談内容別に見ると、＜公営住宅(29 件)＞が多く、＜学校(17 件)＞、＜民間住宅(13 件)＞、＜日常生活(13 件)＞、＜保育(11 件)＞、＜メンタル(10 件)＞と続く。公営住宅と民間住宅を合わせた住まいに関する相談の合計は全体の半数近くであり、低廉な住居へのニーズが高い。また、移住家族の呼び寄せや子の誕生などから、学校、保育へのニーズ、日常生活での困りごとや母国と異なる地での生活によるメンタルの問題が寄せられた。

ニューカマー移住者の相談ではこのように、行政手続きだけでなく生活全般における手続きへの困難が浮き彫りになっている。

▽相談者の在留資格：

身分又は地位による在留資格の合計は22.1%(前年度24.6%)で、さらにその内訳を見ると日本人の配偶者等7.7%(前年度11.3%)、定住者4.5%(前年度4.7%)、永住者9.8%(前年度7.7%)、その他0.1%(前年度0.9%)であった。

活動に基づく在留資格は、家族滞在31.5%(前年度26.7%)、技能6.7%(前年度9.7%)であった。

[相談内容と件数]

大項目	内容別件数 (前年度比)	全体に占める割合 (%)	前年度 件数	小項目 ＜カッコ内は全件に占める割合 (%) ※＞
夫婦関係	197 (87.6%)	6.9	225	結婚 (0.2)、離婚 (1.7)、親権・養育費 (0.3)、DV (1.5)、不和・不満 (1.3)、無断離婚 (1.8)、夫婦その他 (0.1)
手続き	201 (73.4%)	7.0	274	在留資格・パスポート (5.6)、家族呼び寄せ (0.5)、養子 (0.0)、日本国籍取得・帰化 (0.7)、手続その他 (0.2)
地域行政関係	414 (103.8%)	14.5	399	健保・年金 (2.0)、税金 (1.5)、マイナンバー(0.3)、生保・公的扶助 (4.4)、公営住宅(3.5)、高齢福祉(0.5)、障害福祉(0.3)、運転免許(0.4)、行政手続その他 (1.3)、防災・災害(0.1)、その他(0.2)
医療保健	151 (64.5%)	5.3	234	メンタルヘルス(1.6)、医療(2.2)、母子保健(1.1)、その他 (0.4)
人間関係	93 (71.5%)	3.2	130	友人 (0.6)、地域 (0.6)、職場 (0.8)、家庭 (0.9)、その他 (0.3)
労働	245 (104.3%)	8.6	235	求職就職 (4.7)、給料未払い (0.3)、失業や退職 (0.7)、労災 (0.0)、就労定着上の問題(1.6)、起業・経営(0.5)、その他 (0.8)
子ども	702 (130.5%)	24.4	538	子育て (2.8)、保育所・幼稚園 (3.4)、学校 (16.4)、虐待(0.5)、引きこもり・不登校(0.3)、いじめ・暴力(0.2)、その他 (0.8)
日常生活	797 (144.9%)	27.9	550	民間住居 (家探し・退去問題ほか) (1.0)、金銭問題(借金・相続) (1.0)、日常生活(地域情報) (13.1)、通訳・翻訳(1.2)、生活困窮(民間扶助) (0.4)、日本語学習 (10.1)、交通事故/保険(0.0)、その他 (1.1)
その他	64 (228.6%)	2.2	28	人権侵害、犯罪 (1.1)、その他 (1.1)
合計	2,864 (109.6%)	100.0	2,613	

※1 1つの相談が複数のテーマにまたがることもあるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

※2 小項目の各割合は全件に占める割合のため、その合計と大項目の全体に占める割合には誤差あり

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談案件への支援、協会で受けた相談案件に対する他機関からの協力など、他機関との連携による相談は190件（前年度比79.5%）だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者（生活保護受給者含む）、独居高齢者、障害をもつ児童の家庭や生活、手続き等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもへの虐待、学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策課、地域共生課、保健センター、こども安心課、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、豊中しごと・くらしセンター、豊中市配偶等暴力相談支援センター、豊中市女性総合相談支援窓口、地域包括支援センター他
豊中市以外の自治体・学校	福祉事務所・生活支援部局、府・他市教育委員会、公立学校、他
公的支援機関	社会福祉協議会、子ども家庭センター、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター、一時保護施設
その他支援機関	在住外国人支援団体、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、企業・事業所、協会事業ボランティア・役員、議員

◆スタッフ研修（内部・外部）

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び、資質向上を図った。

実施日	テーマ	講師等	参加者数（人） （うち外国人）
4月11日	多言語スタッフ研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10（8）
5月10日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7（6）

5月24日	アウトリーチ・居場所運営検討会議	金城隆一さん（青少年自立援助センターちゅらゆい）	7 (2)
6月6日	多言語スタッフ研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
6月18日	社会福祉協議会と連携した外国人支援事業第1回研修会	大阪府国際交流財団主催	1 (0)
6月19日	大阪府国際交流財団相談員向け研修	大阪府国際交流財団主催	2 (0)
6月20日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
6月22日 7月6日 7月20日 8月3日 8月18日	通訳者、相談員スキルアップ研修	RINK 主催	10 (10)
6月25日	大阪府国際交流財団相談員向け研修	大阪府国際交流財団主催	2 (0)
7月4日	グループスーパービジョン	山中京子さん（コラボレーション実践研究所長）	15 (13)
7月5日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
7月12日	アウトリーチ・居場所運営検討会議	金城隆一さん（青少年自立援助センターちゅらゆい）	7 (2)
8月1日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	7 (7)
8月2日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
9月5日	多言語スタッフ研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
9月6日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
9月21日	在留資格に関する外国人向けセミナー	神奈川国際交流財団主催	1 (0)
9月26日	アウトリーチ・居場所運営検討会議	金城隆一さん（青少年自立援助センターちゅらゆい）	7 (0)
10月3日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
10月4日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
11月1日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
11月15日 11月16日 11月17日 11月18日	パソコンスキルアップ講座	すてっぷ主催	4 (4)
12月6日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
12月13日	守秘義務に関する研修	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	8 (7)
12月19日	アウトリーチ・居場所運営検討会	金城隆一さん（青少年自立援助センターちゅらゆい）	7 (0)
1月9日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
1月10日	多言語スタッフ研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
1月31日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
2月6日	多言語スタッフ研修	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
2月8日	グループスーパービジョン	山中京子さん（コラボレーション実践研究所長）	15 (13)
2月14日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	吉嶋かおり（主任相談員・臨床心理士）	7 (6)
2月20日	多言語スタッフ研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
2月21日	アウトリーチ・居場所運営検討会議	金城隆一さん（青少年自立援助センターちゅらゆい）	7 (0)
3月6日	多言語スタッフ向けマイクロアグレーション研修会	ラボルテ雅樹（相談員）	10 (8)
合 計			260 (190)

◆外国人のためのセミナー／一日相談会／交流事業

相談事業に寄せられる相談から課題を抽出し、その内容を取り上げるセミナーを行った。また、課題対応として、豊中市等と協働で一日相談会を開催したほか、外国人同士が交流できる機会を創出した。

実施日	テーマ	講師等	参加者数（人） （うち外国人）
4月 13日	ネパールの新年会	※多言語スタッフ中心に活動	38 (36)
4月 20日	外国人のためのサッカー交流会	※多言語スタッフ中心に活動	25 (17)
5月 18日	フィリピンシングルマザー交流会	※多言語スタッフ中心に活動 協力：NPO 法人 ZUTTO	10 (9)
7月 27日	ネパールコミュニティ交流会	※多言語スタッフ中心に活動	26 (26)
8月 22日	家族滞在の人向け進路学習会～在留資格と仕事の法律から	富澤集作さん（行政書士）	22 (21)
8月 31日	ネパールの女性のお祭り TEEJ	※多言語スタッフ中心に活動	62 (60)
9月 4日	サッカー交流会@轟公園	※多言語スタッフ中心に活動	12 (10)
9月 14日	外国人保護者のための思春期セミナー	道原舞さん（性教育講師）	34 (33)
9月 14日	韓国秋夕交流会	※多言語スタッフ中心に活動	7 (7)
9月 20日	外国人のための入国入所説明会	※子育て支援センターほっぺ協力	12 (11)
10月 26日	ネパールのティハール祭	※多言語スタッフ中心に活動	20 (20)
11月 28日	永住資格にむけた勉強会	ラボルテ雅樹（相談員）	18 (17)
1月 18日	ネパールコミュニティ交流会	※多言語スタッフ中心に活動	16 (16)
1月 25日	外国人のための 1 日多言語相談会 in 庄内	※国際交流協会ネットワークおおさか、大阪弁護士会、豊中しごと・くらしセンター協力	35 (30)
3月 2日	バレーボール交流会@豊島体育館	※若者事業と連携して実施	21 (19)
合 計			358 (332)

◆同行支援

機関連携により相談対応を行う際、必要に応じてスタッフが同行サポートを行う。

同行先	回数（回）	同行先	回数（回）
豊中市関係施設	18	年金事務所	8
大阪府教育庁	12	家庭訪問	4
府立高校	3	その他	5
合 計			50

◆豊中市社会福祉協議会との連携

実施日	内 容
4月 1日 ※前年度より継続	日赤豊中市地区事務局（豊中市社会福祉協議会内）「ウクライナ人道危機救援金」募金への協力
12月 6日	フットサル交流会への参加
1月 18日	災害時ボランティアセンター設置訓練への参加
1月 23日	阪神淡路大震災 30 年シンポジウムへの協力
3月 18日	地域福祉活動計画推進委員会への参加

※ 上記以外に随時、連携して情報共有等を実施。また、生活困窮者向けの食糧品配布など実施。

地域福祉ネットワーク会議への参加

実施日	内 容	実施日	内 容
7月 16日	南部	2月 13日	南部
7月 22日	北西部	2月 18日	北西部
7月 25日	中西部	2月 28日	中西部
7月 26日	北中部		

地域福祉ネットワーク会議（子ども部会）への参加

実施日	内 容
6 月 4 日	東丘・北丘小学校区
6 月 5 日	庄内・野田小学校区
6 月 6 日	蛭池小学校区
6 月 18 日	大池小学校区
6 月 19 日	克明小学校区

◆リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の運営

協議離婚制度の手続きの簡便さを背景に、日本人配偶者である夫から勝手に離婚届を出されるという相談ケースが続いたことを踏まえ、関西の外国人支援団体、法学者、弁護士と共に「協議離婚問題研究会（リコン・アラート）」というネットワークを 2014 年度に立ち上げ、調査や啓発活動を行ってきた（協会が代表事務所）。

2017 年度に研究会のウェブサイト及び Facebook ページ（12 言語）を立ち上げ、同年に作成した啓発動画&パンフレットを掲載している。2024 年度も引き続き周知広報活動を行い、無断離婚の相談対応を行うと共に、ミーティングを開催して情報共有を実施、2 月には大阪弁護士会と共催で一日離婚電話相談会を開催した。

実施日	内 容	参加者数（人） （うち外国人）
11 月 5 日 10:00～12:00	リコン・アラート ミーティング	7 (0)
2 月 15 日 10:30～16:30	外国人のための一日離婚電話相談会（相談件数 35 件） 主催：大阪弁護士会 共催：リコン・アラート	38 (31)
3 月 31 日 10:30～12:30	リコン・アラート ミーティング	8 (0)
合 計		53 (31)

〔リコン・アラート構成メンバー〕

二宮周平さん（立命館大学）、大谷美紀子さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク）、芝池俊輝さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク）、外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク（RINK）、NGO 神戸外国人救援ネット、いくの学園、京都 YWCA・APT、アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）、公益財団法人箕面市国際交流協会、カトリック大阪大司教区社会活動センターシナピス、公益財団法人大阪府国際交流財団（OFIX）

URL : <http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談の周知のために情報コーナーを設置し、多言語（10 言語）で情報提供している。

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委託事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修（むすびめ事業）」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご交流活動「もっともっとつかえるにほんご」の立ち上げ・初期の運営及び外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業（主に日本語を切り口とした）を協会と共催してきた。

2024 年度も引き続き就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力試験に向けたパーソナルサポートを行った。試験日の 3 か月前から毎週火曜日（状況によっては他の曜日も対応）に 1 回 2 時間のサポートを全て対面で実施した。

	期間	内容	回数	時間数	登録者数
前期	4～6 月	日本語能力試験のためのボランティアによる個別指導	18 回	72 時間	14（うち外国人 9、ボランティア 5）
後期	9～11 月	日本語能力試験のためのボランティアによる個別指導	15 回	33 時間	4（うち外国人 2、ボランティア 2）
合 計			33 回	105 時間	18（うち外国人 11、ボランティア 7）

② コミュニティ活動

フィリピン人中高年の居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYHC)」

2017 年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所づくり調査事業」の調査結果を踏まえ、2018 年度から、今後急速に高齢化を迎えるであろうフィリピン人向けの居場所づくりを実施している（フィリピン人の多言語スタッフが中心となってコーディネートしている）。

例年、開催頻度は毎月 1 回、第 1 日曜日としていたが新型コロナの影響を受け、昨年度に引き続き、定期的な対面活動は実施が困難だった。参加メンバーからは、以前出場していた「豊中まつり」での BON DANCE への参加希望はあったものの、今年度の豊中まつりは例年とは参加条件が異なったため、参加が叶わなかった。そのため、今年度の活動は 12 月に開催したクリスマス会のみとなった。なお、クリスマス会において防災セミナーも合わせて実施している。

実施日	内容	場所	参加人数（人） （うち外国人）
12 月 14 日	クリスマス会	センター	55 (50)
合 計			55 (50)

① 防災事業

外国人のための防災セミナーを開催（講師：山根絵美 [協会職員・防災士]）したほか、神崎川流域合同防災訓練ならびに豊中市社会福祉協議会の災害時ボランティアセンター開設訓練への参加、豊中市消防局の協力による消防セミナーを開催した。その他、技能実習生に対する研修を実施している Maru International での消防訓練に参加した。

加えて、今年度は 1 月に災害時多言語支援センター設置訓練（講師：NPO 多文化共生マネージャー全国協協議会 副代表理事 高木和彦さん）を行い、災害時多言語支援センター設置マニュアルに基づく初動訓練、情報発信訓練および相談対応訓練を行った。

また、台風や地震等の災害情報に関してもホームページや SNS（LINE、Facebook）を通じて適宜提供するなどし、外国人が地域で安全に過ごせるように取り組んだ。7 月には災害時に多言語支援情報を速やかに発信することをめざして、とよなか国際交流協会のホームページに災害時多言語支援情報サイトを新設し、15 言語（自動翻訳）による災害情報の発信を開始した。その新設サイトを活用し、南海トラフ地震臨時情報や台風 10 号（いずれも 8 月）に関する情報発信など行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数（人） （うち外国人）
4 月 22 日	外国人のための防災セミナー	センター	21 (20)
5 月 17 日	Maru International 消防訓練	Maru International	3 (1)
6 月 28 日	東北視察報告会	センター	15 (6)
11 月 10 日	神崎川流域合同防災訓練 参加・ブース出展	グリーンスポーツセンター	2 (0)
1 月 18 日	災害ボランティアセンター開設訓練	豊中市社会福祉協議会	1 (0)
2 月 13 日	災害時多言語支援センター設置訓練	センター	23 (8)
3 月 8 日	外国人のための消防署見学&防災講座	豊中市北消防署	40 (39)
合 計			105 (74)

◆ 地域防災女性ファシリテーター養成講座への参加

地域の防災力向上に向けた女性リーダー育成事業として、(一財)大阪男女いきいき財団が主催する「地域防災女性ファシリテーター養成講座」に参加。講座では東北視察研修（仙台市、陸前高田市、南三陸町）、アクションプランの作成・発表を経て修了。

(2) 子どもサポート事業

① 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくりを行っている。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持ったりできる場になっている。また、保育の専門知識を持つボランティアへの子育て相談や、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場にもなっている。2024年度は参加者やボランティアにとって安心・安全に活動ができるように気を付けながら、昨年度以上の回数を実施することができた。また、お楽しみ会を企画・実施することができた。

実施曜日	時間	回数	ボランティア 登録者数 (人)	参加者数 (人) (うち外国人の子ども、ボランティア)
木曜日	13:30～15:00	38回	9	219 (うち外国人の子ども 130、ボランティア 89)
金曜日	10:30～12:00	48回	7	283 (うち外国人の子ども 186、ボランティア 97)
			合 計	502 (うち外国人の子ども 316、ボランティア 186)

② 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会うことを目的に、母語教室を月に2回開催した。母語教室のスタッフは外国にルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア（同じ経験をした仲間）サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

2020年度、2021年度は新型コロナの影響が強かったが、2022年度以降は安定して対面での活動を行うことができ、2024年度は中国語とスペイン語のクラスを開催した。ルーツの国の遊びや料理など、多様な形でルーツの文化に触れる機会を作ることができた。こういった体験型活動の充実により参加者間の交流が深まり、参加者の定着につながったと考えられる。また2024年度はサンブレイスと合同の遠足を開催し、子ども同士の交流が多く見受けられた。

クラス	実施曜日	時間	回数	参加者数 (人) (うち外国人の子ども、ボランティア)
中国語	第2、4日曜日	10:00～12:00	20回	104 (104) (うち外国人の子ども 60、ボランティア 32)
スペイン語	第2、4日曜日	10:00～12:00	16回	52 (52) (うち外国人の子ども 21、ボランティア 25)
			合 計	156 (156) (うち外国人の子ども 81、ボランティア 57)

<ボランティア研修> ※学習支援・サンブレイスと合同で実施。

実施日	内 容	講師	参加者数 (人) (うちボランティア)
5 月 19 日	マイクロアグレッション ：介入編～自分にできることを考えよう～	ヨコタジェリーさん (大阪大学)	13 (10) (うちボランティア 13)
7 月 6 日	性の多様性からじぶんについて考える	田中一步さん、近藤孝子さん	16 (3) (うちボランティア 16)
		合 計	29 (13)

③ 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子ども（小学生～高校生）を対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。ボランティアの中には外国にルーツを持つ大学生もあり、子どもの抱える悩みやニーズへより細やかで柔軟な対応が可能となった。また、新しいボランティアも加わったことから、ボランティア研修を通して人権や多様性を大切にする場づくりへの理解を深めた。

2024年度は、子ども母語とサンプレイスの合同企画で春に遠足を実施し、ボランティア・子ども同士の交流の場となった。ボランティアが積極的に、季節的なイベントを館内で行うなど、子どもたちが楽しめるような様々な仕掛けや工夫を日々活動の中で行った。多文化フェスティバルでは、お化け屋敷を出店し、普段のサンプレイスに来ていない子どもたちともつながることができた。

<定例>

実施日	時間帯	回数	参加者数（人）（うち外国人）
日曜日 ※第1日曜日を除く	13：00～15：00	35	430（297）（うち外国人の子ども244、ボランティア186〔うち外国人53〕）
合 計			430（297）

<その他イベント>

実施日	内容	参加者数（人）（うち外国人）
8月13日	サンプレ・インテンシブ①	6（3）（うち外国人の子ども3、ボランティア3(0)）
8月25日	サンプレ・インテンシブ②	9（6）（うち外国人の子ども5、ボランティア4(1)）
3月23日	サンプレ・母語合同企画 春の遠足（万博記念公園）	25（17）（うち外国人の子ども15、ボランティア10(2)）
合 計		40（26）（うち外国人の子ども23、ボランティア17(3)）

<ボランティア研修> ※学習支援・サンプレイスと合同で実施

実施日	内 容	講師	参加者数（人） （うちボランティア）
5月19日	マイクロアグレッション ：介入編～自分にできることを考えよう～	ヨコタジェリーさん（大阪大学）	13（10）（うちボランティア13）
7月6日	性の多様性からじぶんについて考える	田中一歩さん 近藤孝子さん	16（3）（うちボランティア16）
合 計			29（13）（うちボランティア29）

④ 若者支援

外国にルーツを持つ人の中でもこれまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2016年度からは「若者のたまりば」と「わかもの相談」、日本語学習支援と地域イベントへの参加等を中心にして活動を行った。2020年度までは自主事業（多文化子どもエンパワメント事業）として外部の助成金を得て活動していたが、2021年度より指定管理事業となり子どもサポート事業の一部として実施している。

[1] 外国にルーツを持つ若者の居場所事業

定例活動では、参加者が外国にルーツを持つ仲間（ピア）と出会い、相互に交流できるような場づくりとして、料理やボードゲームなどの活動を通じた交流を行った。2024年度は国際交流フェスタでの出店や南部地域の庄内コラボセンターでカフェをしたり、遠足に行ったりなど参加者のやりたいことを企画化し、チャレンジできる機会を提供した。また、参加者の主体的な参画を促す工夫として、参加者と一緒に次の活動内容を決めるなどした。

<若者のたまりば> ※対象者は外国にルーツを持つ若者（15～39歳）

実施日時	場所	内容	回数	参加者数（人） （うち外国人）
第1土曜日 13～15時 （このほか、不定期で開催）	センター	若者が集まり、料理やボードゲーム等を通じた交流、居場所づくりを行った	18回	80（52） （うち若者45）
合 計				80（52） （うち若者45）

<その他イベント>

実施日	内容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
9月28日	国際交流フェスタに出店	センター	6（3）
合 計			6（3）

[2] 高校進学のための相談・同行支援

出身国で中学校相当の教育を修了してから来日した若者に対して、高校進学に関する相談対応を行った。相談対応にあたっては多言語相談サービスと連携しながら、情報提供や大阪府教育庁への同行支援など必要な支援を行った。

2024年度は、昨年度と同様に家族の呼び寄せ等により来日した若者が複数おり、高校進学支援（日本語学習、出願書類等作成支援）を実施した。

<高校進学のための相談>

実施日	内 容	場所	回数	参加者数（人） （うち外国人）
随時	高校の受験制度の説明等	センター	21	83（82）
	願書記入等の出願サポート	センター	5	22（21）
合 計			26	105（103）

<同行支援>

実施日	内 容	場所	参加者数（人） （うち外国人）
7月13日	OSAKA 多文化共生フォーラムへの参加	大阪府教育庁	2（2）
9月9日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談 および出願	大阪府教育庁 大阪わかば高校	2（2）
9月18日	府立高校入学者選抜試験合格発表・説明会	大阪わかば高校	2（2）
1月23日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	5（5）
1月30日	オンライン出願に関する説明会	大阪府教育庁	6（6）
2月6日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	2（2）
2月21日	府立高校入学者選抜試験にかかる事前相談	大阪府教育庁	2（2）
合 計			21（21）

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加職員（人）
4月19日	第1回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当会議	センター	1
5月9日	キャリアブリッジ訪問	青少年交流文化館いぶき	2
5月10日	第2回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当会議	センター	1
5月31日	できるカンパニー内覧会	できるカンパニー	1
6月7日	第3回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当会議	センター	1
7月12日	第4回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当会議	センター	1
8月20日	子どもの居場所ネットワーク事業 第1回こどもまんなか円卓会議	文化芸術センター	1
10月31日	子どもの居場所ネットワーク「東泉丘・泉丘・南丘小学校区 いこっと地域交流会」	永寿園	1
11月8日	第5回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当会議	センター	1
11月8日	子どもの居場所ネットワーク「桜井谷東・桜井谷小学校区 いこっと地域交流会」	桜井谷東小学校	1
1月24日	子どもの居場所ネットワーク「豊島西・豊島北・原田小学校区 いこっと地域交流会」	豊島西小学校	1
2月4日	子どもの居場所ネットワーク事業 第2回こどもまんなか円卓会議	文化芸術センター	1
2月14日	第6回 豊中市在日外国人教育推進協議会 担当会議	センター	2
合 計			15

◆外国人保護者のための入学準備説明会（共催：豊中市教育委員会）

就学前の子どもをもつ保護者を対象に、日本の学校について説明、質疑応答を行うことで学校とのコミュニケーションの不安を解消し、子どもを安心して学校に通わせられるようになることを目的として実施している。

日 時	内 容	場 所	参加者数（人） （うち外国人）
2月15日 14:00～15:30	小学校についての説明、質疑応答	センター	14（9） ※外国人親子2組
合 計			14（9）

◆豊中市子ども読書活動連絡会

2005年に策定された「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念は、「こどもすこやか育みプラン・とよなか〜豊中市子育て・子育て行動計画〜」の中に組み入れられている。この理念のもと、子ども読書活動連絡会が立ち上がり、協会ではおやこでにほんごのボランティアと職員が委員として毎年参加している。子ども読書活動連絡会に参加することは、外国人・外国ルーツの子ども（家庭）についての視点を地域に浸透させるとともに、豊中市の関連部局との連携、子どもと読書に関わる地域市民との交流を進める上で大きな意味をもっている。

協会では、計画に基づき、外国人の子どもが参加する全ての事業で、活動の中に読書推進の取組を盛り込むことに努めている。センター内の図書コーナーには、外国語絵本コーナーもあり、事業横断的な外国人市民の読書推進活動を行っている。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取組を行っており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境づくりを意識している。センター内の開かれた場所に多様な言語の蔵書が配架されていることは、利用者の安心・安全な居場所づくりにも寄与しているものと考えられる。

[連絡会への参加]

実施日	内容	場所	参加者数（人）（うち外国人）
7月 5日	第1回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	1（1）
11月 27日	第2回子ども読書活動連絡会	岡町図書館	1（1）

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんなあつまれわくわくランドへの出展

日時	場所	内 容	参加職員（人）（うち外国人）
12月 7日 10:00～12:00	千里体育館	世界の民族衣装（帽子）の体験、民族衣装の顔出しパネル体験、乳幼児や親子を対象とした活動の紹介	1（1）

(3) 多文化子どもエンパワメント事業

① 学習日本語「こんぱす」

2010年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなかJSL」が生まれ、2012年度より、協会・とよなかJSL・豊中市の三者の協働事業「とよなかこども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステムづくりのための事業（「こどもにほんごプロジェクト」）」が3か年計画として始まった。2017年度をもって日本語教室の運営を取りやめることになったが、2019年度に教案集出版を記念したシンポジウムを開催したことを契機に、2020年度より新たな子どもの日本語教室となる学習日本語「こんぱす」を立ち上げた（運営主体：とよなかJSL 協力：協会）。

昨年度に引き続き、対面での活動を継続して実施することができた。来日して日が浅い子どもや日本育ちの子ども、初級の日本語は修了したがもう少し日本語を学びたい子どもなど多様な子どものニーズに応じた指導を行った。春休みには、数学のサポートが必要な子どもを対象に教科指導を行った。また、日本語について気になる子どもの保護者や教員からの教育相談を実施しており、必要に応じて「こんぱす」通級につなげたり、学校や自宅での学習についてのアドバイスをしたりした。

<定例>

実施曜日	時間	回数	参加者数（人）（うち外国人）
火曜日・金曜日	17:00～19:00	86回	1,283（601）（うち子ども601人）
合 計			1,283（601）（うち子ども601人）

<教科指導>

実施曜日	時間	回数	参加者数（人）（うち外国人）
火曜日・金曜日	14:00～16:30	4回	30（10）（うち子ども10人）
合 計			30（10）（うち子ども10人）

<教育相談>

実施曜日	時間	回数	参加者数（人）（うち外国人）
火曜日・金曜日	16:00～17:00	9件	51（24）
合 計			51（24）

② ネットワーク事業への参加

子どもの夢応援ネットワーク

外国にルーツがあるなど、マイノリティ性を持つ子ども・若者の支援に関わっている団体、個人で作られたネットワーク。2017年7月から活動を行い、定期的な情報交換、シンポジウムなどを実施している。

定期的な情報交換会の開催のほか、セミナーを行った。当ネットワークの働きかけもあり、2024年度から在留資格「家族滞在」の子ども（※一部）もJASSO（独立行政法人日本学生支援機構）の奨学金を受けられるようになったが、どういった経緯で変わったか、何が変わったか等について、文部科学省の担当官を招いたセミナーなどを行った。

<定期的な情報交換>

実施日	開催場所	構成団体	参加者数（人） （うち外国人）
4月 9日	ナレッジサロン、チカノバ&オンライン	【構成メンバー】 箕面市国際交流協会、とよなか国際交流協会、吹田市国際交流協会、おおさかこども多文化センター、西淀川インターナショナルコミュニティ等	11（2）
5月 9日			11（2）
6月 11日			5（1）
6月 25日			8（2）
7月 30日			8（2）
8月 17日			8（2）
9月 5日			9（2）
10月 2日			7（1）
11月 1日			8（2）
12月 3日			8（2）
1月 7日			8（2）
2月 18日			9（2）
3月 19日			8（2）
合 計			108（24）

<研修会、シンポジウム等>

実施日	開催場所	内容	参加者数（人） （うち外国人）
5月18日	チカノバ	「教えて、是川さん！～数値から見る国際化の現状～」 講師：是川夕さん（国立社会保障・人口問題研究所）	45 （6）
7月20日	学校法人白頭学院 建国高等学校	「外国につながる子どもの教育支援を途切れなく～日本 学生支援機構の国の奨学金制度、支援拡大の液位と今後の 展望～」 松本向貴さん（文部科学省）、近藤美登志さん （元大阪市子どもサポートネット推進員）	60 （15）
合 計			105 （21）

<訪問、意見交換等>

実施日	内 容	開催場所	参加者数（人） （うち外国人）
6月24日	大阪府教育庁への要望書の提出	大阪府教育庁	5 （1）
8月17日	西淀川インターナショナルコミュニティ訪問	西淀川インターナショナルコ ミュニティ	5 （1）
10月8日	大阪府教育庁との意見交換	大阪府教育庁	5 （1）
合 計			15 （3）

3. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

(1) 小学校外国語体験活動事業（豊中市教育委員会からの受託事業）

豊中市が総合計画で推進している「共に生きる平和な社会の実現を図る」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会が実施している「豊中市立小学校外国語体験活動（提案公募型事業）」に選定され、受託した。地域に暮らす外国人（ボランティア）が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

<事業内容>

全豊中市立小学校と義務教育学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として地域で暮らす外国人がボランティアとしてクラスを訪れ、様々な国や地域の文化や言語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ①子どもや教職員に、地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ②その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③学校に在籍する外国にルーツを持つ子どもたち・外国籍の子どもたちの自尊感情が育まれ、マイノリティの子どもエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取組をした。

<実施体制> <ボランティア：42人（15か国・地域）、コーディネーター4人>

2024年度に実施した小学校外国語体験活動の授業の国・言語数はそれぞれ15言語にのぼった。今年度は英語の実施を希望する学校はなく、「ルーツを持つ子どもが在籍している」という理由からその子に関連する言語選択をする学校が多くみられた。内容についても、それぞれのルーツの国の文化紹介を織り交ぜた形で授業を進め、講話だけでなく時にクイズや質問を投げかけながら、子どもたちの興味・関心を引き出した。

ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度は様々であった。

2024年度は4名のコーディネーターが中心となり、ボランティアの課題や悩みにきめ細やかな対応や、相談サービスとの連携を図ることができた。また、外国人ボランティアの希望や個性を把握することで他事業につなげることができ、それぞれ活躍の場を広げることができた。

2024年度に行われた「教材作成チーム」では、新人・ベテラン問わず、授業の中で創意工夫を凝らしたボランティア11名が集まった。2021年度以前よりもバリエーション豊かな授業が行われており、来年度の授業に生かせるようにしたい。

<実施実績>

活動参加ボランティア数（人）	42
ボランティア活動総時間数	636時間
体験した子どもの参加者数（人）	約19,080人
ボランティア国・出身地域数	15か国・地域 内訳 中国、韓国、フィリピン、ネパール、タイ、フランス、ベトナム、台湾、インドネシア、ペルー、ロシア、ブラジル、エジプト、トルコ、ウクライナ

(2) 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進連絡会

文部科学省は 2005 年 8 月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008 年度までの 3 か年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010 年度より豊中市国際教育推進協議会を立ち上げ、2019 年度からは連絡会として、継続的に情報交換・意見交換を行っている。2023 年度は会議が 2 回開催され、教育委員会、小中学校、こども園、それぞれの立場から情報共有・意見交換が実施された。

<豊中市国際教育推進連絡会への参加>

実施日	内 容	場 所	参加職員数 (人)
11 月 14 日	豊中市における国際教育の現状について	豊中市役所	1
2 月 21 日	豊中市における国際教育の現状について	豊中市役所	1

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会が毎年センターにおいて多言語による進路相談会を開催している。対象生徒の増加により、2022 年度、2023 年度に引き続き、中学 3 年生及び 2 年生のみを対象としての開催となった。

<豊能ブロック協議会構成団体> 計 23 団体

大阪府教育庁	大阪府在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
箕面市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
能勢町教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
豊能町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能町在日外国人教育研究協議会
池田市進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
豊中市進路保障協議会	(公財) とよなか国際交流協会
箕面市進路保障協議会	(公財) 箕面市国際交流協会
豊能郡進路保障協議会	池田市ダイバーシティセンター
豊能地区在日外国人教育研究協議会	

<豊能ブロック協議会への参加>

実施日	内 容	場 所	参加職員数 (人)
6 月 18 日	帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業 第 1 回豊能ブロック協議会	センター	1
7 月 2 日	第 2 回豊能ブロック協議会	センター	1
9 月 17 日	第 3 回豊能ブロック協議会	センター	1
11 月 18 日	第 4 回豊能ブロック協議会	センター	1
合 計			4

<豊能ブロック 「多言語による進路ガイダンス」>

実施日	時間	場所	参加者数 (人)
10 月 12 日	13:00~16:00 〔13:00~13:45 進路説明会 13:45~14:30 個別相談会〕	センター	140 (31 家族参加) (うち生徒 32 人、保護者 31 人、通訳者 15 人 [7 言語]、関係者 62 人)
合 計			140

◆多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、多文化フェスティバル（帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂に集い、つながり、交流を深める機会）を毎年開催し、2024年度で20回目を迎えた（後援：豊中市教育委員会）。

2024年度は、昨年に引き続き参加対象を「外国にルーツを持つ子どもおよびその友人」とした。開催時間についても、コロナ禍以降午前中のみとしていたが、12:00～13:30に20周年特別企画『じぶんのすきなおかずでおにぎりを作ろう』を開催し、全体の開催時間を10:00～14:00とした。

当日は、例年実施している豊中市教育委員会や豊中市外国人教育推進協議会、協会などが実施する各活動（「子ども日本語教室」、「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」、「子ども母語教室」「学習支援・居場所づくり サンプレイス」など）の紹介、教育委員会主催の国際教室による遊びや体験コーナーのブースを出展した。今年度は、大阪府立東淀川高校、福井高校の学生によるものづくり体験ブースもあり、子どもたちが外国にルーツを持つ先輩たちや多様な国・地域・世代の人たちと遊びや発表を通じて交流し、関わりあう機会となった。

実施日	時間	場所	参加者数（人）（うち外国人）
12月21日	10:30～12:30	センター	130（99） [※なお、参加者全体のうち、企画の対象者である子どもは61。そのほか、保護者30、スタッフ10、関係者29]
合 計			130（99）

※参加団体

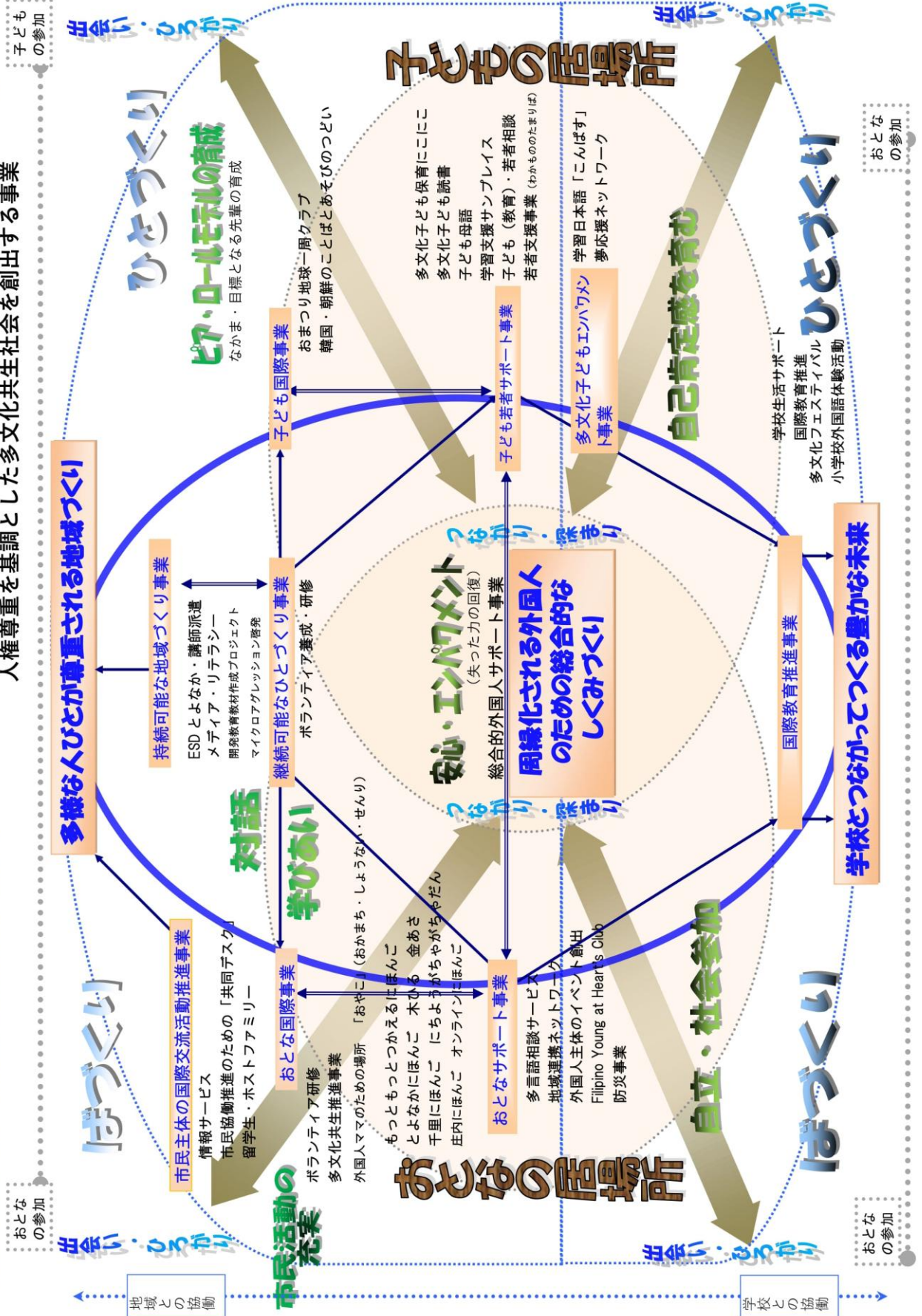
（豊中市教育委員会学校教育課人権教育係、豊中市在日外国人教育推進連絡会、豊中市こども日本語教室、韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい、とよなか国際交流協会、子ども母語教室、学習支援「サンプレイス」、インターンシップ生（大阪大学大学院）、学生ボランティア
ゲスト：東淀川高校、福井高校）

2024年度

公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、
人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

○ は協会最重要課題である
総合的外国人支援事業の
範囲をします。



4. 施設管理受託事業

(1) とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数（人）	41,747	[前年度比 4,579 増]
全利用者のうち外国人の利用者数（人）	18,848	[前年度比 2,757 増]
年間貸室件数（件）	7,238	[前年度比 312 増]
国際交流目的での貸室件数（件）	6,463	[全貸室における比率 89.3%]

◆2024 年度(2024 年 4 月～2025 年 3 月) 月別・部屋別 使用件数・利用人数

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務（豊中市からの受託）の施設貸出業務について

① 2024 年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）月別 使用件数・使用率

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	26	540	2,786	1,249
5月	26	539	2,665	1,182
6月	26	623	3,272	1,477
7月	26	563	2,766	1,096
8月	27	560	2,212	1,065
9月	26	673	4,655	1,918
10月	26	660	4,116	2,022
11月	26	656	3,977	1,723
12月	24	606	4,083	2,047
1月	25	583	3,569	1,748
2月	24	593	3,678	1,634
3月	27	642	3,968	1,687
合計	309	7,238	41,747	18,848

◆2024 年度(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

月別・部屋別 使用件数・使用率

(単位 上段：件、下段：%)

2024度(2024年4月～2025年3月) 月別・部屋別使用件数・使用率														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件 数	38	35	40	34	36	40	41	38	36	37	32	37	444
	使用率	48.7%	44.9%	51.3%	43.6%	44.4%	51.3%	52.6%	48.7%	50.0%	49.3%	44.4%	45.7%	47.9%
会議室2A	件 数	39	29	38	34	33	41	36	37	35	28	30	31	411
	使用率	50.0%	37.2%	48.7%	43.6%	40.7%	52.6%	46.2%	47.4%	48.6%	37.3%	41.7%	38.3%	44.3%
会議室2B	件 数	36	30	33	31	32	38	32	38	30	30	29	33	392
	使用率	46.2%	38.5%	42.3%	39.7%	39.5%	48.7%	41.0%	48.7%	41.7%	40.0%	40.3%	40.7%	42.3%
会議室2C	件 数	18	37	46	42	33	49	44	42	40	36	35	35	457
	使用率	50.0%	47.4%	59.0%	53.8%	40.7%	62.8%	56.4%	53.8%	55.6%	48.0%	48.6%	43.2%	51.6%
会議室3	件 数	42	43	49	39	31	49	48	47	43	38	41	40	510
	使用率	53.8%	55.1%	62.8%	50.0%	38.3%	62.8%	61.5%	60.3%	59.7%	50.7%	56.9%	49.4%	55.0%
会議室4	件 数	58	63	66	59	55	58	65	64	59	55	54	62	718
	使用率	74.4%	80.8%	84.6%	75.6%	67.9%	74.4%	83.3%	82.1%	81.9%	73.3%	75.0%	76.5%	77.5%
会議室5	件 数	48	38	48	45	34	47	49	48	41	40	40	40	518
	使用率	61.5%	48.7%	61.5%	57.7%	42.0%	60.3%	62.8%	61.5%	56.9%	53.3%	55.6%	49.4%	55.9%
料理室	件 数	25	23	31	21	20	29	37	33	31	25	29	35	339
	使用率	32.1%	29.5%	39.7%	26.9%	24.7%	37.2%	47.4%	42.3%	43.1%	33.3%	40.3%	43.2%	36.6%
音健ルーム	件 数	20	24	29	22	27	32	28	34	24	20	25	28	313
	使用率	25.6%	30.8%	37.2%	28.2%	33.3%	41.0%	35.9%	43.6%	33.3%	26.7%	34.7%	34.6%	33.8%
和 室	件 数	1	4	5	5	14	29	33	27	26	22	26	22	214
	使用率	1.3%	5.1%	6.4%	6.4%	17.3%	37.2%	42.3%	34.6%	36.1%	29.3%	36.1%	27.2%	23.1%
プレイルーム1	件 数	10	14	12	15	12	20	23	19	14	11	17	16	183
	使用率	12.8%	17.9%	15.4%	19.2%	14.8%	25.6%	29.5%	24.4%	19.4%	14.7%	23.6%	19.8%	19.7%
プレイルーム2A	件 数	9	6	18	16	19	24	14	16	27	30	27	30	236
	使用率	11.5%	7.7%	23.1%	20.5%	23.5%	30.8%	17.9%	20.5%	37.5%	40.0%	37.5%	37.0%	25.5%
プレイルーム2B	件 数	7	5	16	14	17	22	12	16	25	31	26	27	218
	使用率	9.0%	6.4%	20.5%	17.9%	21.0%	28.2%	15.4%	20.5%	34.7%	41.3%	36.1%	33.3%	23.5%
ギャラリー1	件 数	78	78	78	78	81	78	78	78	72	75	72	81	927
	使用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ギャラリー	件 数	78	78	78	78	81	78	78	78	72	75	72	81	927
	使用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
CCスペース	件 数	33	32	36	30	35	39	42	41	31	30	38	44	431
	使用率	42.3%	41.0%	46.2%	38.5%	43.2%	50.0%	53.8%	52.6%	43.1%	40.0%	52.8%	54.3%	46.5%
総件数		540	539	623	563	560	673	660	656	606	583	593	642	7238
開館日数		26	26	26	26	27	26	26	26	24	25	24	27	309
使用率		44.8%	43.2%	49.9%	45.1%	43.2%	53.9%	52.9%	52.6%	52.6%	48.6%	51.5%	49.5%	48.9%
会議室2Cは4/1～4/17まで会議室2Cのパーティーション故障のため貸出不可。よって4/18～4/30のみで集計(12日間)														

※ なお、市民の声を受け、2023 年 7 月から CC スペースを貸室として稼働を始めている。

◆2024 年度(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

国際交流目的 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率

(単位 上段：件、下段：%)

2024度(2024年4月～2025年3月) 国際交流目的 月別・部屋別使用件数・使用率														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件 数	35	32	36	30	33	36	37	33	30	33	28	32	395
	使用率	44.9%	41.0%	46.2%	38.5%	40.7%	46.2%	47.4%	42.3%	41.7%	44.0%	38.9%	39.5%	42.6%
会議室2A	件 数	36	29	31	30	32	38	31	33	32	28	28	27	375
	使用率	46.2%	37.2%	39.7%	38.5%	39.5%	48.7%	39.7%	42.3%	44.4%	37.3%	38.9%	33.3%	40.5%
会議室2B	件 数	33	27	29	27	31	34	28	34	28	30	26	29	356
	使用率	42.3%	34.6%	37.2%	34.6%	38.3%	43.6%	35.9%	43.6%	38.9%	40.0%	36.1%	35.8%	38.4%
会議室2C	件 数	17	35	42	38	32	45	40	41	38	35	32	30	425
	使用率	47.2%	44.9%	53.8%	48.7%	39.5%	57.7%	51.3%	52.6%	52.8%	46.7%	44.4%	37.0%	48.0%
会議室3	件 数	39	42	46	36	30	49	48	47	43	36	41	39	496
	使用率	50.0%	53.8%	59.0%	46.2%	37.0%	62.8%	61.5%	60.3%	59.7%	48.0%	56.9%	48.1%	53.5%
会議室4	件 数	58	61	65	58	53	58	65	64	59	55	54	62	712
	使用率	74.4%	78.2%	83.3%	74.4%	65.4%	74.4%	83.3%	82.1%	81.9%	73.3%	75.0%	76.5%	76.8%
会議室5	件 数	46	36	45	43	32	47	48	47	39	39	39	38	499
	使用率	59.0%	46.2%	57.7%	55.1%	39.5%	60.3%	61.5%	60.3%	54.2%	52.0%	54.2%	46.9%	53.8%
料理室	件 数	23	22	29	19	17	28	35	29	30	23	27	32	314
	使用率	29.5%	28.2%	37.2%	24.4%	21.0%	35.9%	44.9%	37.2%	41.7%	30.7%	37.5%	39.5%	33.9%
音健ルーム	件 数	12	12	20	12	13	21	17	21	16	10	15	15	184
	使用率	15.4%	15.4%	25.6%	15.4%	16.0%	26.9%	21.8%	26.9%	22.2%	13.3%	20.8%	18.5%	19.8%
和室	件 数	1	1	2	3	11	27	30	27	25	21	23	21	192
	使用率	1.3%	1.3%	2.6%	3.8%	13.6%	34.6%	38.5%	34.6%	34.7%	28.0%	31.9%	25.9%	20.7%
プレイルーム1	件 数	10	14	12	15	11	19	22	18	13	11	17	16	178
	使用率	12.8%	17.9%	15.4%	19.2%	13.6%	24.4%	28.2%	23.1%	18.1%	14.7%	23.6%	19.8%	19.2%
プレイルーム2A	件 数	2	0	8	2	1	6	3	0	3	0	1	1	27
	使用率	2.6%	0.0%	10.3%	2.6%	1.2%	7.7%	3.8%	0.0%	4.2%	0.0%	1.4%	1.2%	2.9%
プレイルーム2B	件 数	2	0	8	2	1	6	3	0	3	0	1	0	26
	使用率	2.6%	0.0%	10.3%	2.6%	1.2%	7.7%	3.8%	0.0%	4.2%	0.0%	1.4%	0.0%	2.8%
ギャラリー1	件 数	78	78	78	78	81	78	78	78	72	75	72	81	927
	使用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ギャラリー2	件 数	78	78	78	78	81	78	78	78	72	75	72	81	927
	使用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
CCスペース	件 数	33	32	36	30	35	39	42	40	31	30	38	44	430
	使用率	42.3%	41.0%	46.2%	38.5%	43.2%	50.0%	53.8%	51.3%	43.1%	40.0%	52.8%	54.3%	46.4%
総件数		503	499	565	501	494	609	605	590	534	501	514	548	6463
開館日数		26	26	26	26	27	26	26	26	24	25	24	27	309
使用率		41.7%	40.0%	45.3%	40.1%	38.1%	48.8%	48.5%	47.3%	46.4%	41.8%	44.6%	42.3%	43.7%
会議室2Cは4/1～4/17まで会議室2Cのパーティション故障のため貸出不可。よって4/18～4/30のみで集計(12日間)														

◆使用料の収入の状況：とよなか国際交流センター使用料

(令和6年(2024年)4月～令和7年(2025年)3月納付分)

計 1,714,610 円

◆2024 年度（2024 年 4 月～2025 年 3 月）安全管理の状況

2024年度(2024年4月～2025年3月)安全管理の状況					
	①窓の開閉事故	②パーテーションの開閉事故	③電球取り換え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無	無	無	無	
5月	無	無	無	無	
6月	無	無	無	無	
7月	無	無	無	無	
8月	無	無	無	無	
9月	無	無	無	無	
10月	無	無	無	無	
11月	無	無	無	無	
12月	無	無	無	無	
1月	無	無	無	無	
2月	無	有	無	無	
3月	無	無	無	無	

(2) 視察、学生受入れ等

◆視察受入れ

	日時	受入れ	参加者数（人） （うち外国人）
1	2024 年 6 月 8 日	メコン・マイグレーション・ネットワーク	6 (5)
2	7 月 18 日	大阪府立刀根山高等学校	4 (0)
3	7 月 26 日	大阪府立千里高等学校	2 (0)
4	7 月 30 日	NPO 法人 Sharing Caring Culture	4 (1)
5	7 月 30 日	(公財) 仙台観光国際協会	1 (0)
6	8 月 1 日	大阪府立刀根山高等学校	4 (0)
7	8 月 19 日	国立社会保障・人口問題研究所	2 (0)
8	8 月 23 日	追手門学院大手門高等学校	1 (0)
9	8 月 27 日	認定 NPO 法人 D×P	2 (0)
10	9 月 27 日	三田市国際交流協会	8 (0)
11	10 月 5 日	認定 NPO 法人 ムラのミライ	2 (0)
12	10 月 18 日	大阪府立豊中高等学校	6 (0)
13	11 月 15 日	豊中市 市職員 2 年目研修	6 (0)
14	11 月 18 日	すまいる・すてっぷ	1 (0)
15	11 月 22 日	(公財) 大阪府国際交流財団	2 (0)
16	12 月 13 日	(公社) 鳥取県人権文化センター	3 (0)
17	12 月 13 日	大阪大学人間科学部	17 (0)
18	12 月 13 日	きりしまにほんごきょうしつ	2 (0)
19	12 月 15 日	福岡県立大学	1 (0)
20	2025 年 1 月 14 日	豊中市立克明小学校 3 年生	10 (0)
21	1 月 16 日	大阪同和・人権問題企業連絡会	9 (0)
22	1 月 27 日	NPO 法人 メタノイア	1 (0)
23	1 月 30 日	特定非営利活動法人 共に暮らす	5 (1)
24	2 月 6 日	東大阪市	5 (0)
25	2 月 17 日	大阪市立野田小学校	1 (0)
26	2 月 20 日	(公財) 横浜市国際交流協会	6 (0)
27	2 月 21 日	NPO 法人 アイキャン・岐阜県美濃加茂市	9 (1)
28	3 月 6 日	豊中市立蛭池小学校 5 年生	61 (1)
合 計			181 (9)

◆学生受入れ（インターン）

2024 年度は、3 校よりインターンの希望があり、4 名のインターンを受入れた。

学校名	受入数（人） （うち外国人）	実習時間
甲南女子大学	1 (0)	40 時間
関西学院大学	1 (0)	60 時間
大阪大学（人間科学部）	2 (1)	80 時間
合 計	4 (1)	180 時間

◆職場体験学習 CUL（カル）

2024 年度は 2 校より職場体験の希望があり、5 名の生徒を受け入れた

学校名	受け入れ期間	受入数（人）（うち外国人）
豊中市立第四中学校	11 月 12 日、14 日	3 (1)
豊中市立第十二中学校	10 月 31 日、11 月 1 日	2 (0)
合 計		5 (1)

◆司法修習自己開拓プログラム

2024 年度、修習生自己開拓プログラム受け入れの希望をうけ、司法修習生 1 名を受け入れた。
受け入れ期間：2025 年 2 月 3 日～2 月 7 日

(3) ATOMS ふりかえり会（事業評価会）

◆ATOMS ふりかえり会（事業評価会）

各事業の取組の振り返りと共有を通して、各事業が何をを目指すのか、事業同士をどうやって有機的につなげていくのか、協会職員だけでなく、事業に関わる市民とともに 1998 年から実施している（参加者 42 人）。

日 時	内 容	場 所	参加者（うち外国人）
2 月 1 日 10:00～12:00	協会の全事業について、グループワーク形式で参加者や担当職員が振り返った内容について共有し、意見交流を行った。なお、振り返りの視点（以下の 4 つ）は全事業共通。 ①双方向性 ②ボトムアップ ③居場所 ④エンパワメント	センター	42（12）
合 計			42（12）

(4) 会議等への参加・協力、他機関との意見交換・情報収集

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(21 団体)

克明小学校区連絡会	大池小学校区連絡会	地域福祉ネットワーク会議
とよなか市民環境会議	識字・日本語豊中連絡会	豊中市子ども・若者支援協議会
豊中市障害者差別解消支援地域協議会	豊中こどもの居場所ネットワーク	豊中市こども相談支援ネットワーク会議
豊中市国際教育推進連絡会	豊中市こども施策推進本部連絡会議	豊中市 DV 防止ネットワーク会議
豊中市防災会議	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市教職員組合	豊中市外国人市民会議	豊中市犯罪被害者等相談支援ネットワーク会議
豊中市地域福祉活動計画推進委員会	豊中市民生・児童委員推薦会	豊中市多機関連携支援会議

その他（19 団体）（順不同）

（社福）みとい福祉会	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中南ライオンズクラブ	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
多文化社会専門職機構	ダイバーシティ研究所	大阪弁護士会
「ひと・まち・であい 夏まつり」実行委員会	大阪府人権協会	国際交流の会とよなか（TIFA）
豊中南ロータリークラブ	近畿税理士会	大阪府教育庁
大阪出入国在留管理局		

◆訪問等による情報収集・意見交換

文部科学省高等教育局学生支援課	文部科学省総合教育政策局国際教育課	文部科学省大臣官房国際課
文部科学省総合政策局日本語教育課	自治体国際化協会	大阪府人権局人権擁護課
国立社会保障・人口問題研究所		

(5) 職員研修、その他

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加（もしくは主催）した。（協会主催の研修会は㊦印で太字／自己啓発支援については㊦印で太字）45回

実施日	内容（主催）
4月 7日	OTD ワークショップ「マジョリティの無意識の前提」をふまえたダイバーシティ理解（Facilitators LABO）
4月 15日	新入職員のためのサービスマナーセミナー（大阪府社会福祉協議会）
4月 29日	行動するためのアクティブ・バイスタンダー研修入門編（ジェンダー総合研究所）
4月 29日	ジェンダー平等とともに未来をつくろう（国連ウィメン日本協会／大阪男女いきいき財団）
5月 24日	㊦合理的配慮について（松波めぐみさん）
6月 19日、25日	在留資格についての勉強会（大阪府国際交流財団）
6月 28日	「発達障害」についての勉強会
7月 13日	薬物依存症がある人への社会福祉士の支援の向上のための研修（筑波大学医学医療系）
7月 13日	移民の子どもの隣に座って考えたこと～大阪・ミナミの「支援教室」でのボランティア経験から（ヒューライツ大阪）
7月 18日	ファシリテーション実感セミナー（Be Nature School）
7月 20日、8月 18日	通訳者・相談員スキルアップ研修（RINK）
7月 23日	第24回 2024 多民族共生人権研究集会（多民族共生人権研究集会実行委員会）
9月 17日	こころのサポーター養成講座（豊中市）
9月 21日	映画上映「In Betweenへはさま：母語のための場を探して」（いくの多文化ふらっと）
10月 17日	人権文化まちづくり講座 歩いて学ぶ部落差別（とよなか人権文化まちづくり協会）
10月 18日	日常生活に埋め込まれた無自覚の差別（クロスパル高槻）
10月 22日	外国人ママのSOS 約3000 ケースからみえた異国での妊娠出産の現状（Mother's Tree Japan）
10月 29日	新任ボランティアコーディネーター基礎研修（大阪ボランティア協会）
11月 15日、16日、17日、18日、19日	パソコンスキルアップ講座（とよなか男女共同参画推進センター）
11月 28日	公益法人制度改正と公益法人会計基準改正
12月 20日	ことばを紡ぐプロジェクト成果報告会（神戸定住外国人支援センター）
1月 12日	㊦ジャパン女性防災リーダーサミット 2025（女性のエンパワメントで高める地域の防災リーダー育成事業実行団体ネットワーク）
1月 17日、18日	㊦マイクロアグレッション研修（ヒューライツ大阪 朴利明さん）
1月 18日	ことばを紡ぎ繋がる「多文化共生」フォーラム（ふたば国際プラザ）
1月 18日	子どものSOSに気づく一歩～子どもの権利から（いくのコーライズズパーク）
1月 21日	オンラインいこっとセミナー「高校生向けの居場所について」（とよなかESD ネットワーク）
2月 14日	日本のムスリムのライフステージとその実像～日本で生き、育て、働き、死を迎える（笹川平和財団）
2月 14日	インクルーシブボランティアのコーディネーション（とよなかESD ネットワーク）
2月 22日	㊦北京家宴・春の薬膳勉強会（中医薬膳料理教室）
2月 25日、26日	先進地域視察研修 川崎市ふれあい館、川崎高校定時制高校内カフェ
3月 4日	㊦個別スーパービジョン（自由が丘カウンセリングオフィス）
3月 8日	㊦障害の社会モデルからマイノリティの社会モデルへ（勤労者福祉会館「臨湖」）
3月 15日	対話と尊重の文化をつくる～修復的対話実践（京都 YMCA／関西セミナーハウス活動センター）
3月 22日	映画「もっと真ん中で」上映会&監督出演者トーク
3月 24日	ことばの教育 継承・復興（大阪大学外国語学部）
3月 26日	㊦ベトナム料理レッスン（はなうた食堂調理室）
3月 29日	大阪 YMCA 春の日本語教育セミナー～外国にルーツを持つ子どもへの日本語学習支援（大阪 YMCA）

◆館内ワールドクイズ「シン・ワールドクイズ」

施設壁面を活用した取組。館内随所にクイズ（各国の文化等に関する問題。全 15 問）を掲示している。

事務所で回答用紙を受け取ってクイズラリー形式で回答を全て集めると、オリジナルポストカードを 1 枚プレゼントする企画として常設している。

豊中市に暮らす外国人の数が多い国から順にクイズで取り上げており、楽しみながら豊中市で暮らす外国人のことを知ったり、様々な館内掲示物に触れたりすることで国際交流、多文化共生に関する理解が深まるように取り組んでいる。

◆子ども服のリサイクルコーナー

地域における子育て支援の一環として、事務所前に子ども服・用品のリサイクルコーナーを常時設置している。不要になった子ども服を持参して自ら陳列してもらい、必要な人は無料で持ち帰ることができるコーナーとして、市民、施設利用者から好評を得ている。

IV. 理事会・評議員会開催状況、組織体制

1. 理事会開催状況

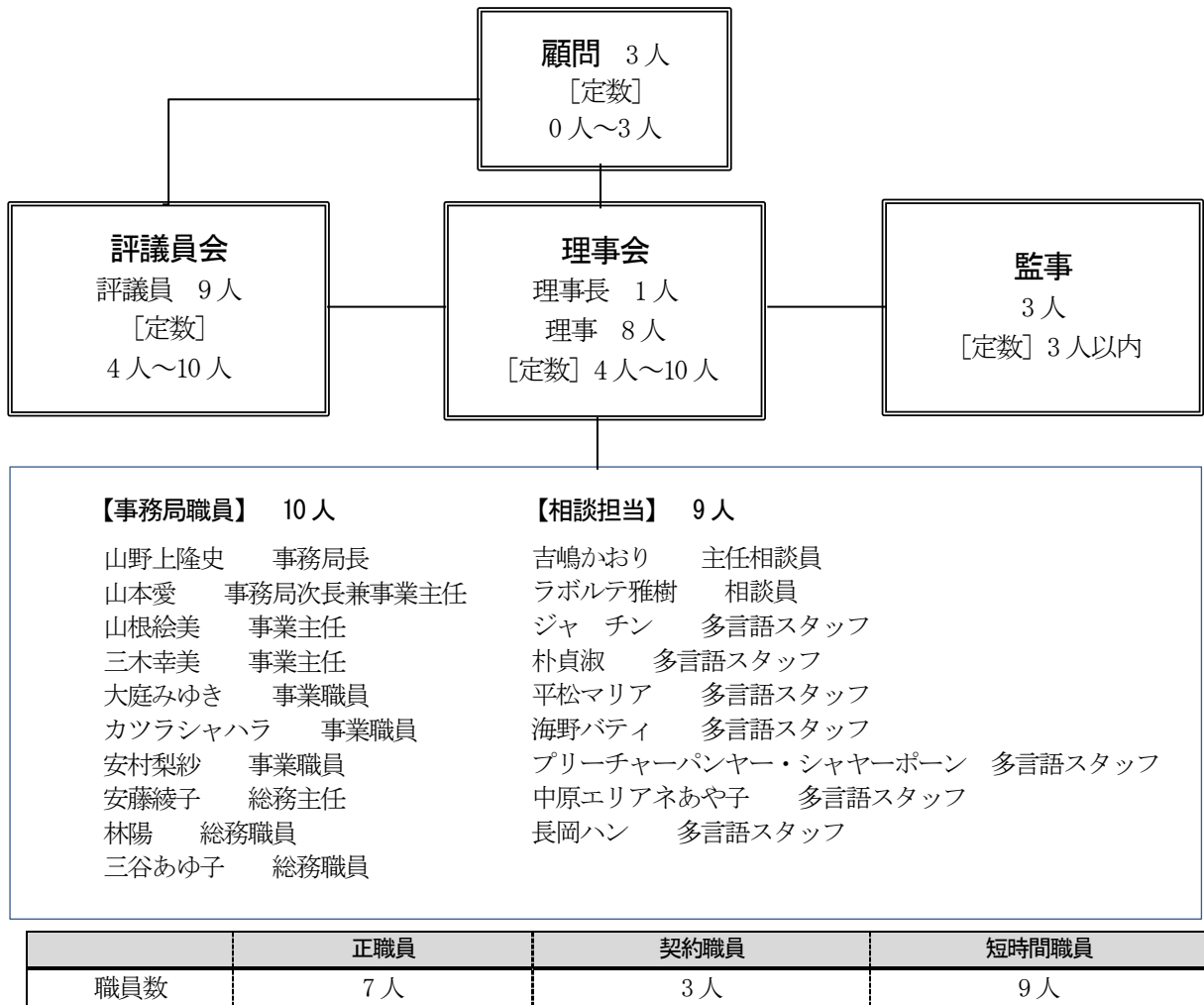
開催日時・場所	案件
第1回理事会 2024年5月21日 午後3時～5時 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2023 年事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 役員について 第3号議案 就業規則、育児・介護休業規則の改定について 第4号議案 給与規則及び給与表の改定について 第5号議案 定時評議員会の実施について <全案件について同日可決> 報告事項 常務理事より理事長および常務理事の職務の執行の状況報告
第2回理事会 2024年6月18日 午後6時00分～午後6時30分 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 代表理事の選定について 第2号議案 常務理事の選定について <全案件について同日可決>
第3回理事会 2024年9月17日 午後1時～3時 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2024 年度補正予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 給与表及び謝金支払いに関する規定の変更について 第4号議案 臨時評議員会の実施について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第4回理事会 2025年2月25日 午後6時～7時45分 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2025 年度事業計画および予算について 第2号議案 特定費用準備資金について 第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて 第4号議案 役員について 第5号議案 育児・介護休業規則の改定について 第6号議案 臨時評議員会の招集の決定について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

2. 評議員会開催状況

開催日時	案件
第1回評議員会 2024年6月14日 午前10時00分～午後0時00分 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2023 年度事業報告及び計算書類等の承認について 第2号議案 役員について 第3号議案 就業規則、育児・介護休業規則の改定について 第4号議案 給与規則及び給与表の改定について <全案件について同日可決> 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況確認

第2回評議員会 2024年9月24日 午後1時00分～午後3時00分 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2024年度補正予算について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 給与表及び謝金支払いに関する規定の変更について ＜全案件について同日可決＞ 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告
第3回評議員会 2025年3月13日 午後1時00分～午後3時00分 ※対面及びオンライン開催	第1号議案 公益財団法人とよなか国際交流協会 2025（令和7）年度の事業計画及び予算について 第2号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて 第3号議案 役員について 第4号議案 育児・介護休業規則の改定について ＜全案件について同日可決＞ 報告内容 常務理事より理事長及び常務理事の職務の執行の状況報告

3. 2024 年度組織体制



【役員等名簿】

役職名	名 前	役職名	名 前
理事長	松本 康之	評議員長	園崎 寿子
理 事	浦 耕太郎	評議員	窪 誠
理 事	榎井 縁	評議員	宋 悟
理 事	服部 圭子	評議員	大家 幸子
理 事	徳弘 博子	評議員	野崎 志帆
理 事	大島 昭子*	評議員	伴野 多鶴子
理 事	田中 逸郎	評議員	ラッタナセリーウォン センティアン
理 事	ヨコタ ジェリー	評議員	オチャンテ カルロス
理 事	片山 フィオナ	評議員	上村 有里
常務理事	山野上 隆史		
監 事	種田 ゆみこ		
監 事	呉 幸 哲		
監 事	山上 真理		

*…2025年3月13日まで

2024(令和6)年度事業報告 附属明細書

2024(令和6)年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。